

「病院でのチーム医療における 歯科の係わりに関する調査結果」

平成 23 年 3 月

社団法人 日本歯科医師会
日本歯科総合研究機構

ご挨拶

この度、日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構は病院におけるチーム医療と歯科との関係を把握することを目的に、全国の病院を対象に調査を実施しました。この報告書はその結果を記したものです。

この調査の成果は、厚生労働省のチーム医療推進方策検討WGに報告するとともに今後の医療連携の資料として活用していく所存であります。

ご多用の中、この調査にご協力いただいた病院関係者の方々に厚く感謝を申し上げます。また、調査の実施に当たり、事前に打合せをさせていただき、ご協力をいただいた日本医師会、日本病院会、全日本病院協会、全国自治体病院協議会、日本医療法人協会等病院団体の関係者の方々にも厚く感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月

社団法人日本歯科医師会 会長 大久保満男

日本歯科総合研究機構 機構長 山科 透

= 目 次 =

1. 調査の概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査対象および方法	1
3) 回収状況	1
2. 調査結果	2
1) 全体の結果	4
2) 歯科標榜のある病院における「歯科診療実績」の結果	13
3) 歯科標榜の有無での比較（全体は再掲）	16
4) チーム医療に関する結果（歯科標榜有無別）	18
5) 口腔ケアを含めた歯科的管理、口腔機能回復（歯科標榜有無別）	20
6) 結果のまとめ	24
3. 考 察	25
4. 集計結果	27
5. 調 査 票	37

1. 調査の概要

1) 調査目的

各病院において実施されているチーム医療における歯科医療職種の実態を把握し、今後の施策提言を行うための基礎資料とする。

2) 調査対象および方法

平成 22 年 10 月現在 独立行政法人福祉医療機構 WAM NET に公表されている全国の 8,818 病院のうち、住所不明で返送分、病院の休止・廃止分、診療所への転向を明記した調査票を除く 8,750 病院を対象とした。調査票の分析は日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構が実施した。

3) 回収状況

平成 22 年 11 月末に調査対象病院に委託会社から調査票を郵送し、平成 23 年 1 月 21 日到着分までを回収・集計した。調査票の有効回答数は 2,665 病院、有効回答率は 30.5% であった（表 1）。

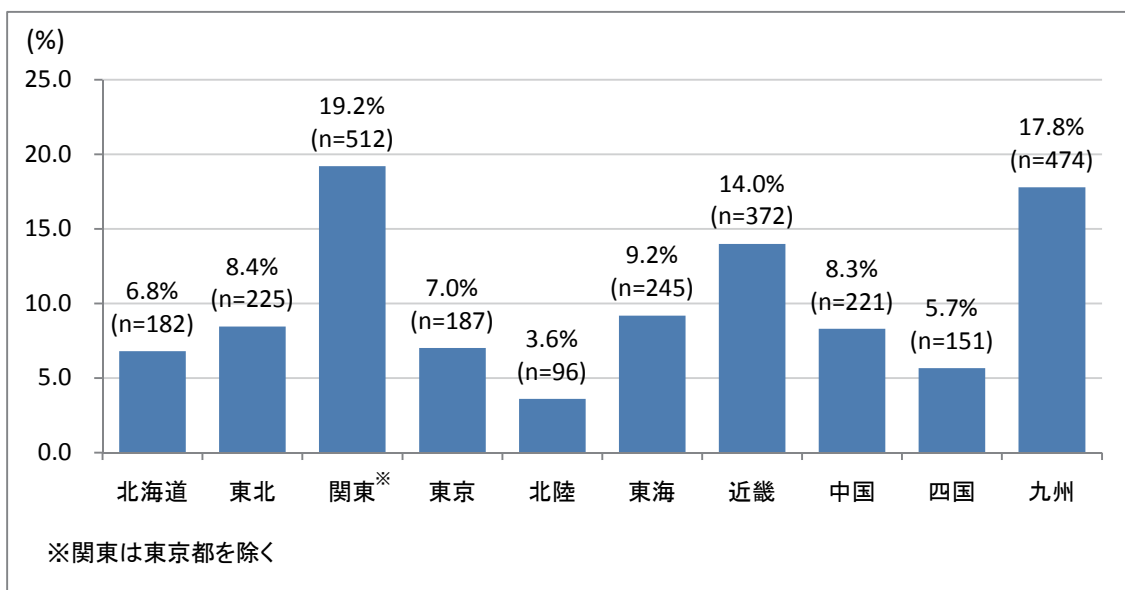
表 1. 対象病院数、有効回答数および回答率

対象病院数	8,750
有効回答数	2,665
有効回答率	30.5%

2. 調査結果

有効回答病院の地域別構成割合を図1に示した。また、有効回答病院の都道府県別病院構成割合と平成21年医療施設動態調査のそれを比較したものを図2に示した。一部都道府県に若干の差異があるものの、大きな偏りはなかった。

図1. 有効回答病院の地域別構成割合



北海道地区：北海道

東北地区：青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県

関東地区：茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 新潟県 山梨県
長野県（東京都を除く）

東京地区：東京都

北陸地区：富山県 石川県 福井県

東海地区：岐阜県 静岡県 愛知県 三重県

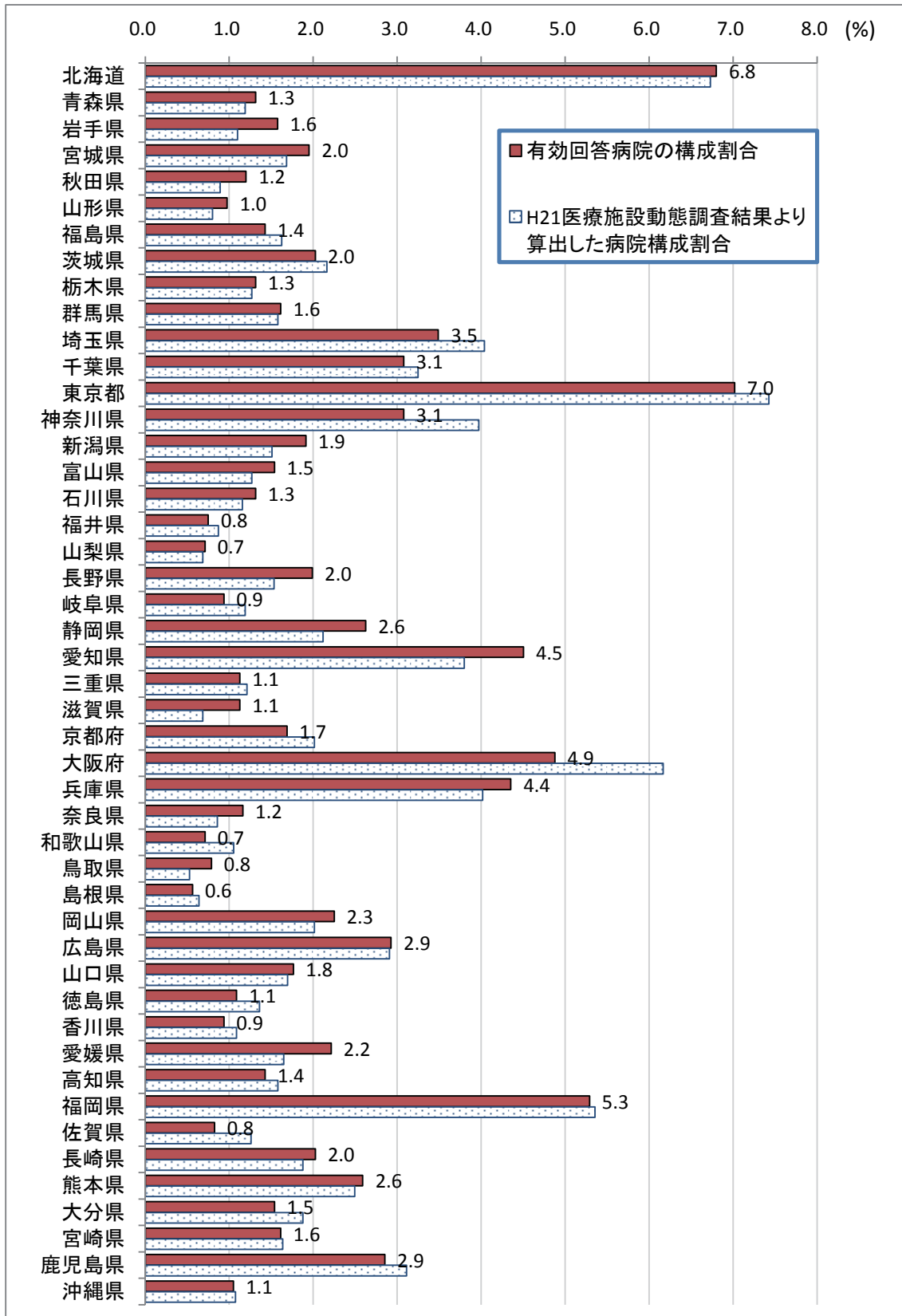
近畿地区：滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県

中国地区：鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

四国地区：徳島県 香川県 愛媛県 高知県

九州地区：福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

図2. 有効回答病院の都道府県別構成割合—医療施設調査（平成21年）との比較—

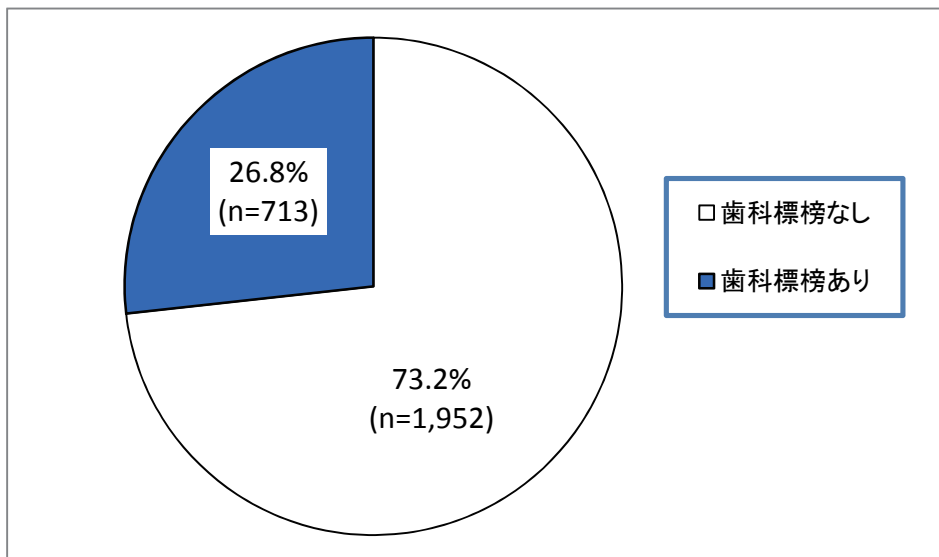


1) 全体の結果

歯科標榜の有無

歯科を標榜する病院は全体の 26.8% (713 病院) であった (図 3)。

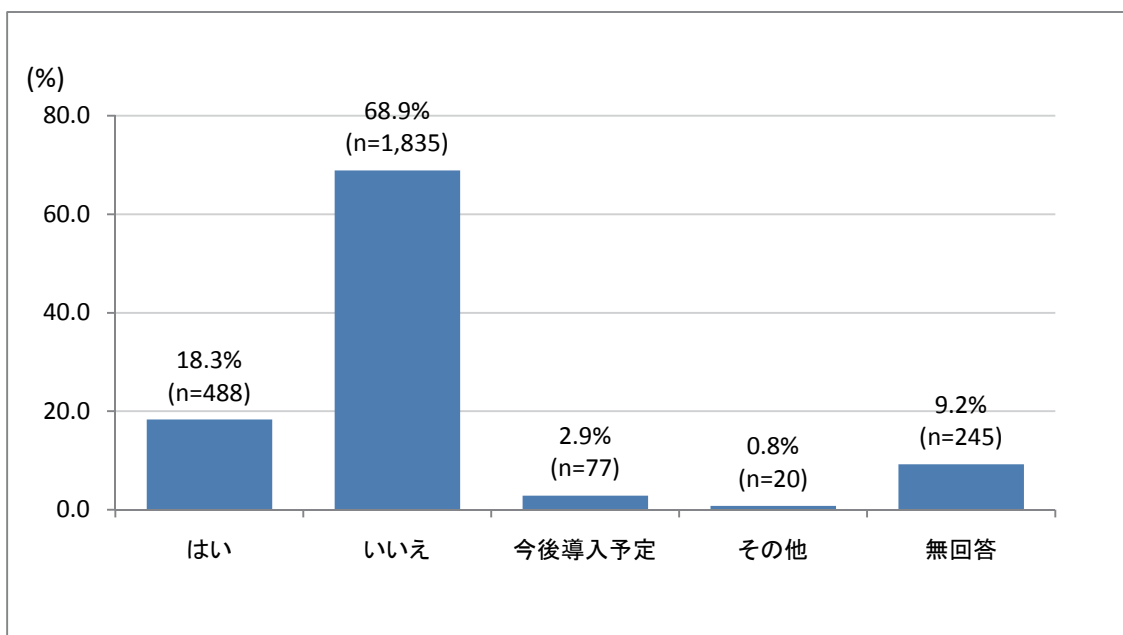
図 3. 歯科標榜病院の割合



DPC対象病院かどうか

DPC 対象病院は、全体の 18.3%であった。68.9% (1,835 病院) は DPC を導入していなかった (図 4)。 ※DPC (Diagnosis Procedure Combination; 診断群分類)

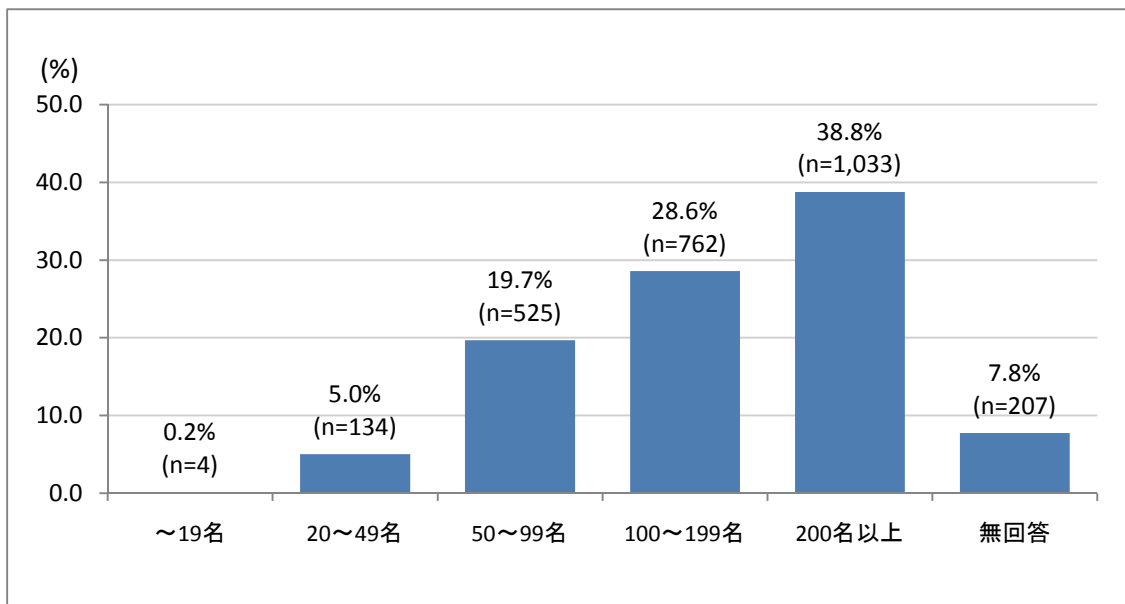
図 4. DPC対象病院かどうか



全従業員数

図5には、全従業員数の割合を示した。200名以上の病院が最も多く38.8%であった。

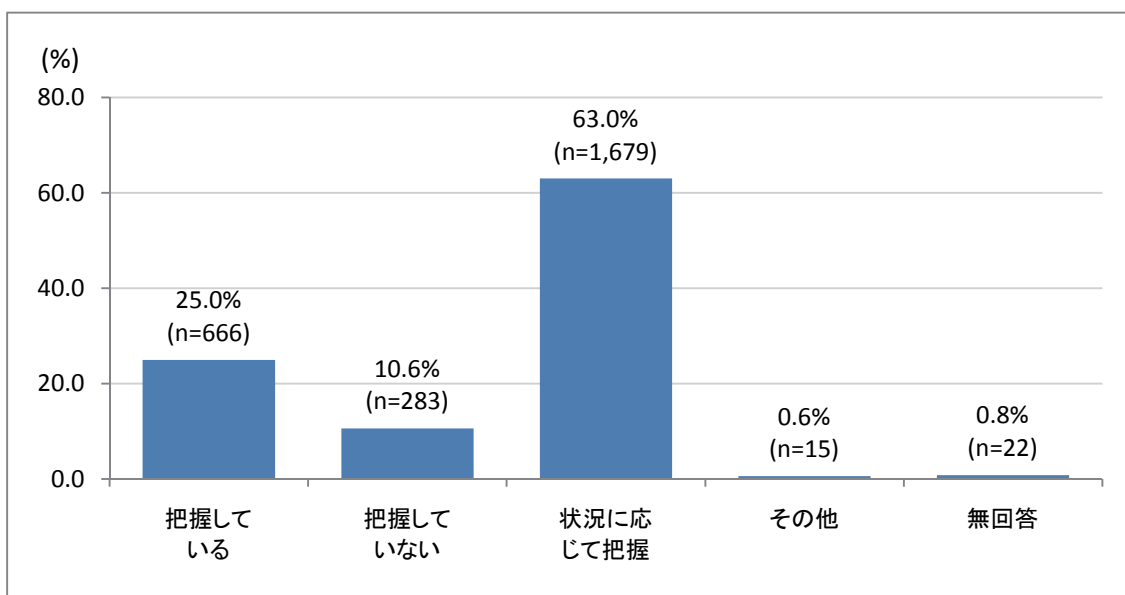
図5. 全従業員数の割合



入院患者の歯科医療および口腔内情報の把握状況について

入院患者の歯科医療および口腔内情報の把握状況について図6に示した。25.0%は把握していると回答し、10.6%は把握していないとの回答であった。

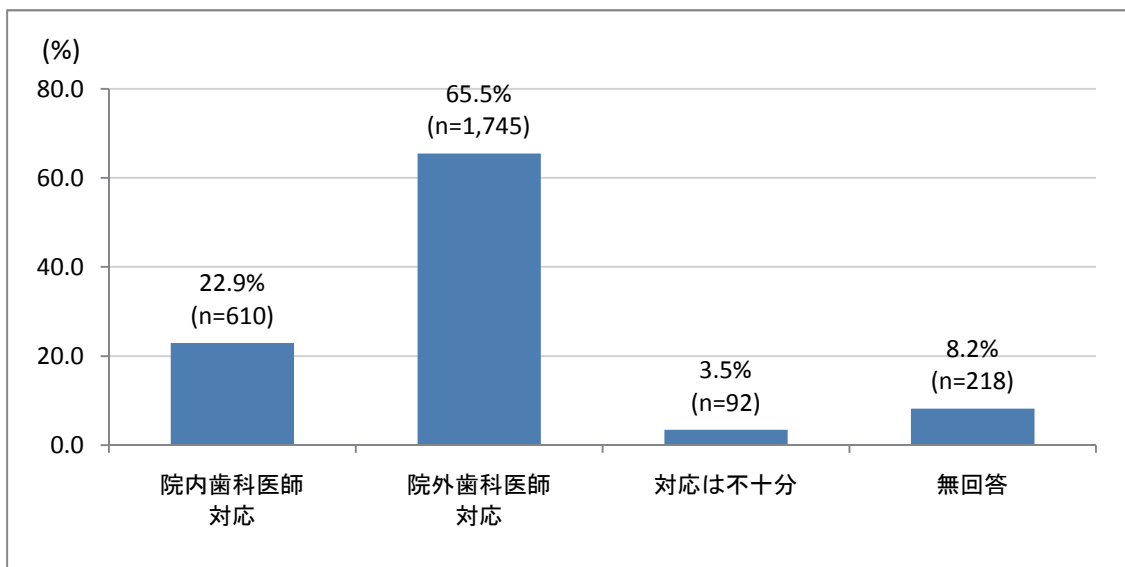
図6. 入院患者の歯科医療および口腔情報について



入院患者に緊急に歯科治療が必要となった場合の対応について

入院患者に緊急に歯科治療が必要となった場合の対応は、院内歯科医師が対応（22.9%）、院外歯科医師が対応（65.5%）、対応が不十分と回答した病院が3.5%であった（図7）。

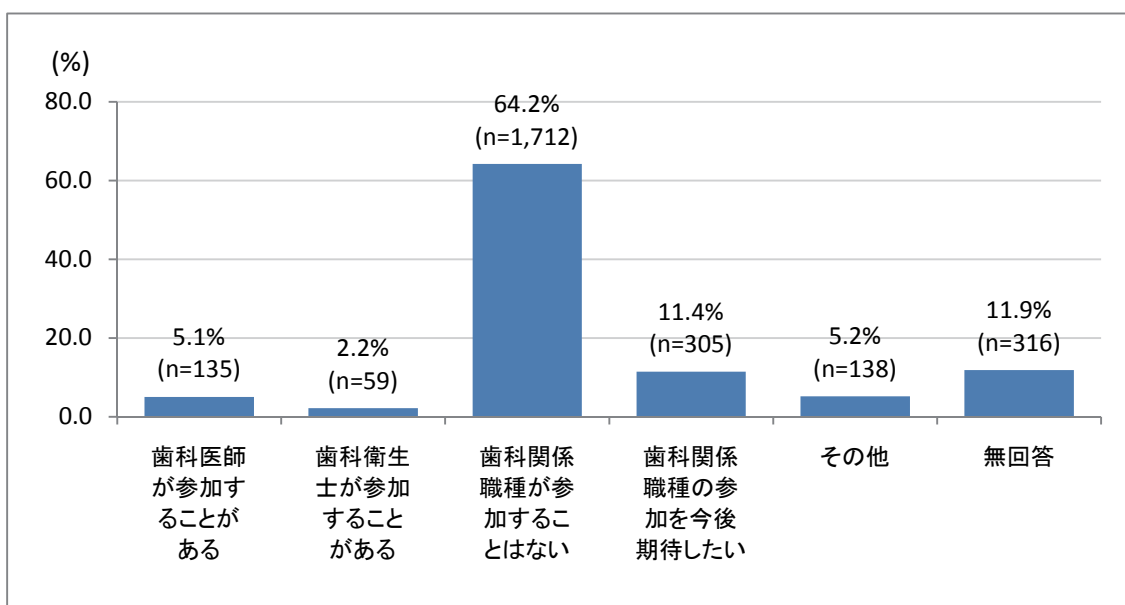
図7. 入院患者に緊急に歯科治療が必要となった場合の対応



退院時カンファレンスの実施状況

図8には退院時カンファレンスの実施状況を示した。歯科医師や歯科衛生士が退院時カンファレンスに参加することがあると回答したのは7.3%であった。全体の64.2%は歯科関係職種が参加することはないと回答した。

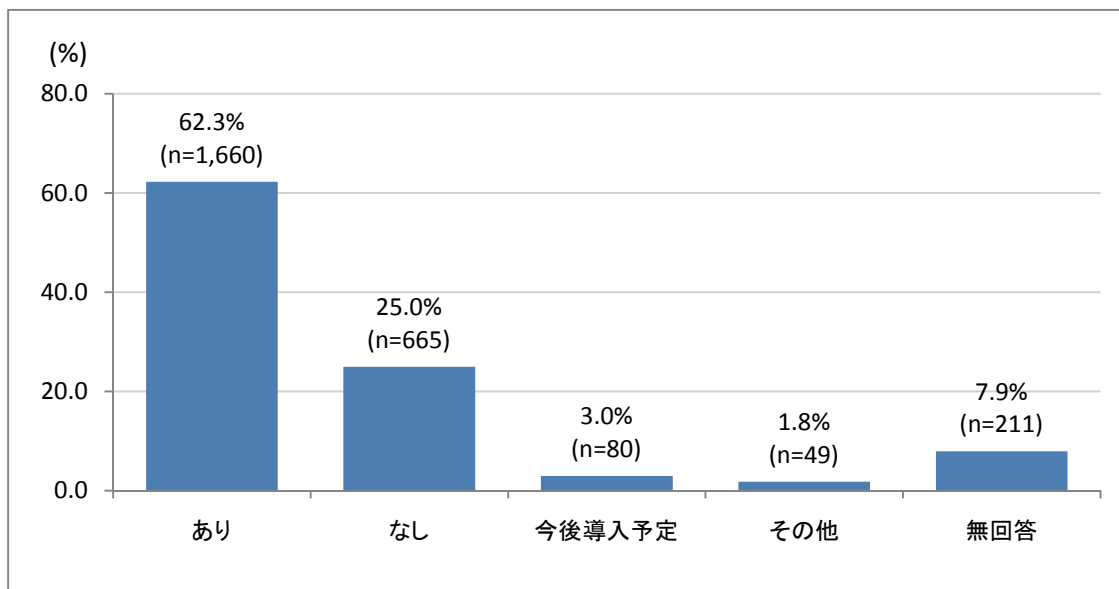
図8. 退院時カンファレンスの実施状況



地域連携室の有無

図 9 には地域連携室の有無についての回答割合を示した。全体の 62.3%はありと回答しており、25.0%はなしと回答していた。

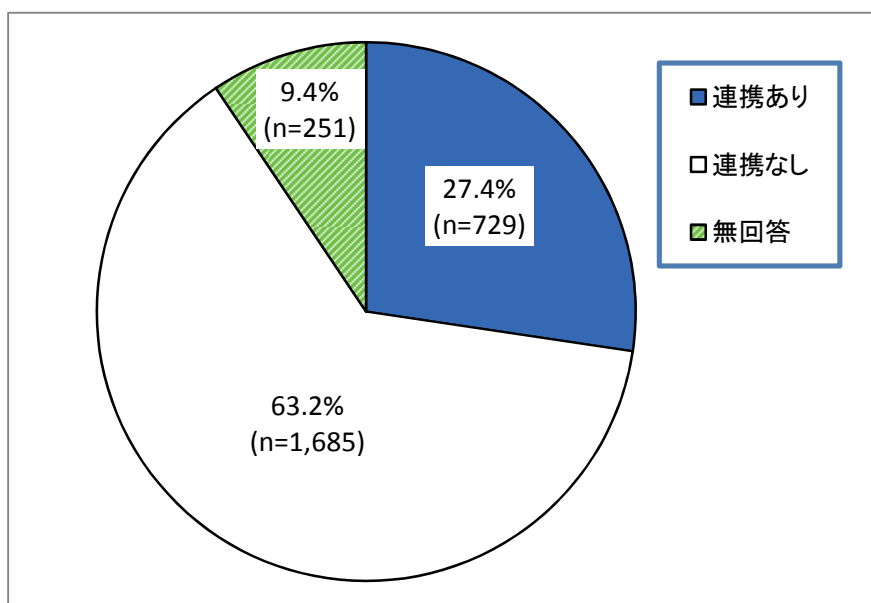
図 9. 地域連携室の有無



歯科医療に関して地域歯科医師会との連携の有無

図 10 には地域歯科医師会との連携の有無を示した。27.4%の病院は連携ありと回答したが、63.2%は連携なしと回答した。

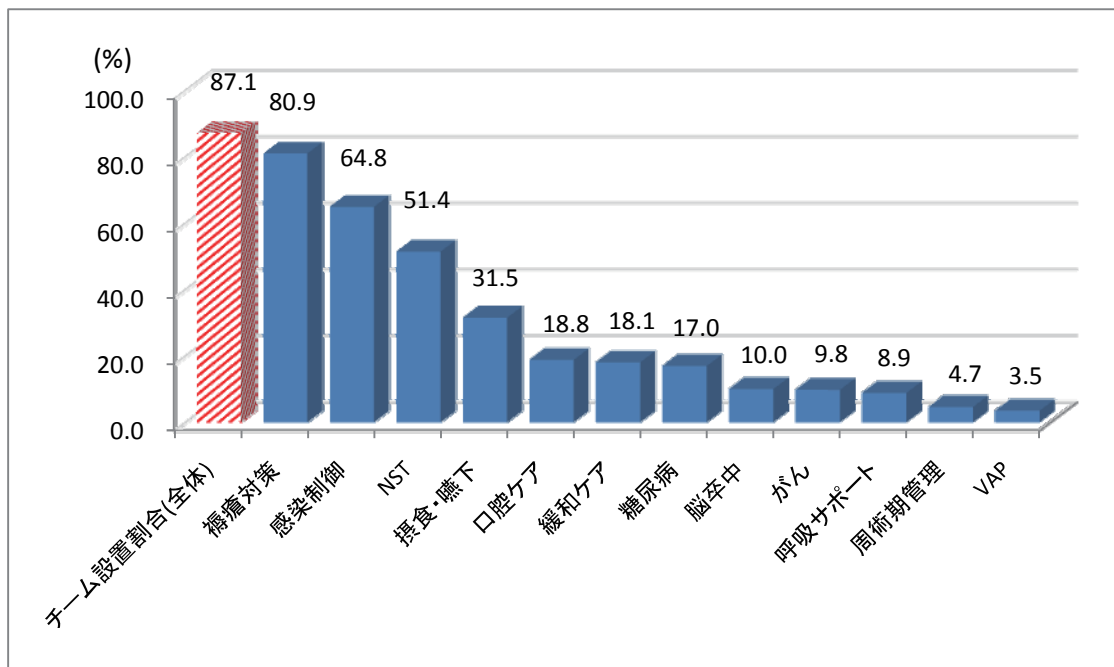
図 10. 歯科医療に関して地域歯科医師会との連携の有無



チーム医療に関する結果

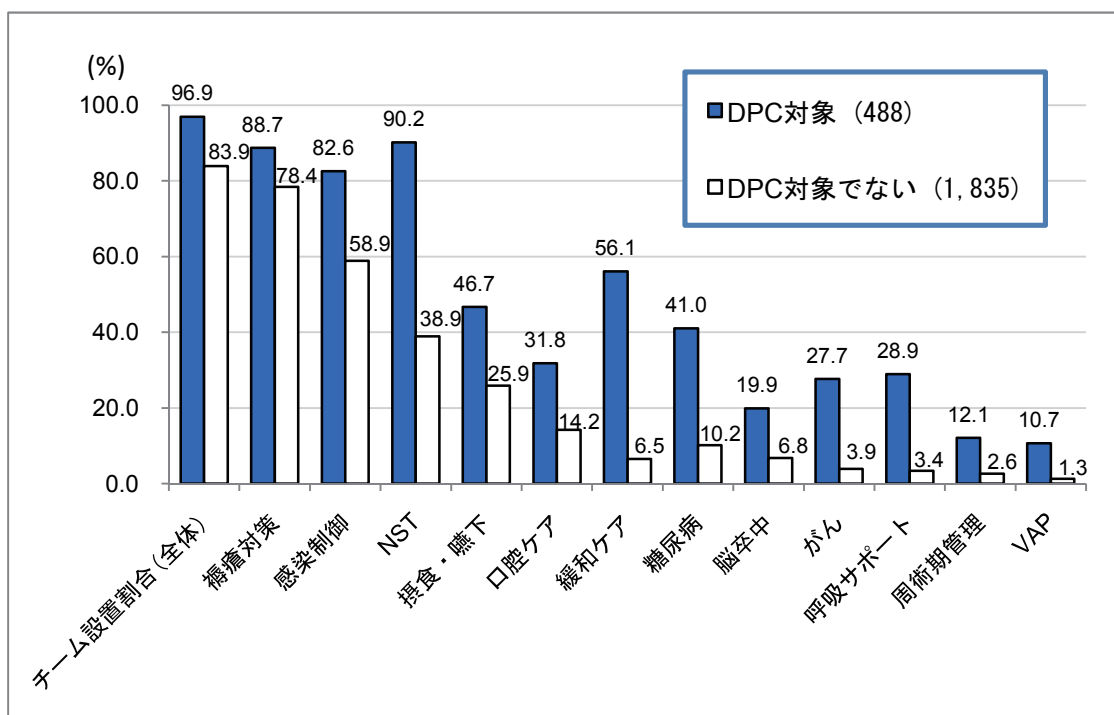
何らかのチームを設置している病院は87.1%であった。図11には設置割合の高いチームの順に示した。

図11. 各チームの設置割合



DPC対象病院であるか、そうでないかと各チームの設置割合を図12に示した。

図12. DPC対象病院か、そうでないかとチーム設置割合 (再掲)



各チームの設置状況結果

図 13. NST連携（栄養サポート）チーム

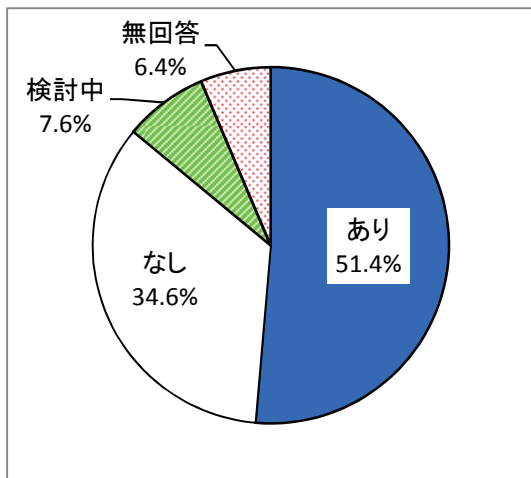


図 14. がん患者連携チーム

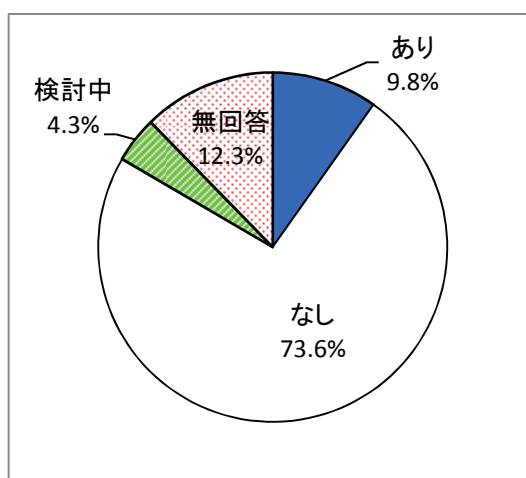


図 15. 脳卒中患者連携チーム

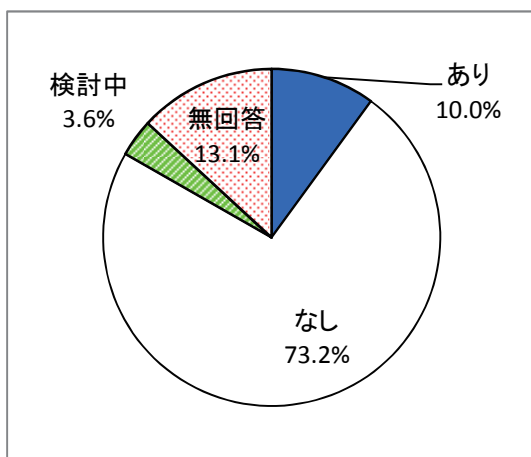


図 16. 糖尿病患者連携チーム

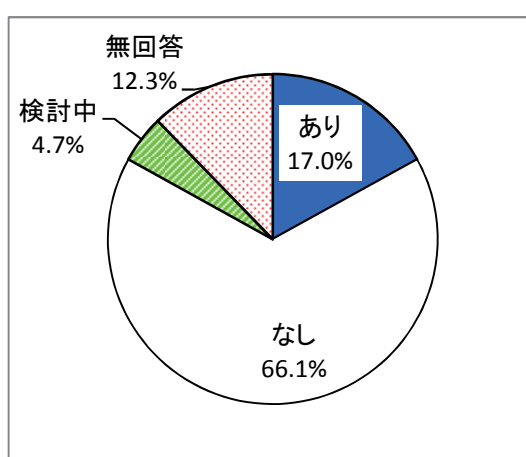


図 17. 緩和ケア連携チーム

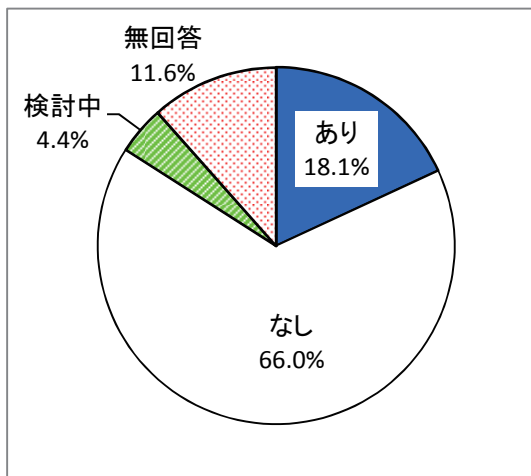


図 18. 口腔ケアチーム

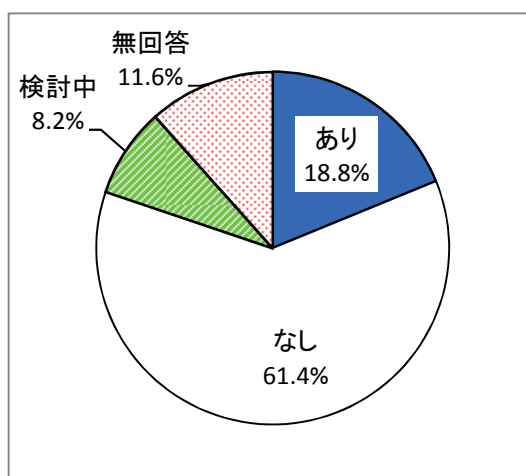


図 19. 呼吸サポートチーム

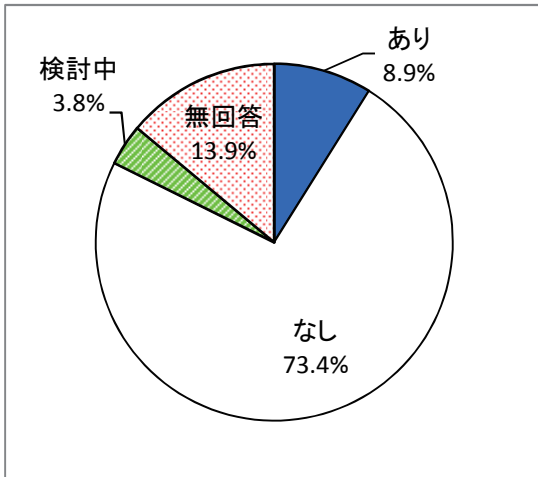


図 20. 人工呼吸器関連肺炎 (VAP) チーム

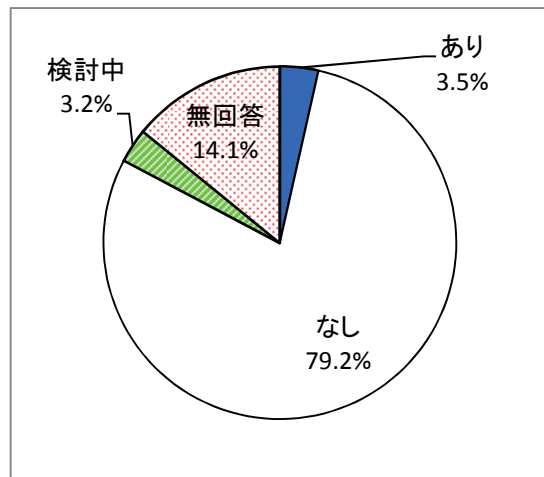


図 21. 摂食・嚥下チーム

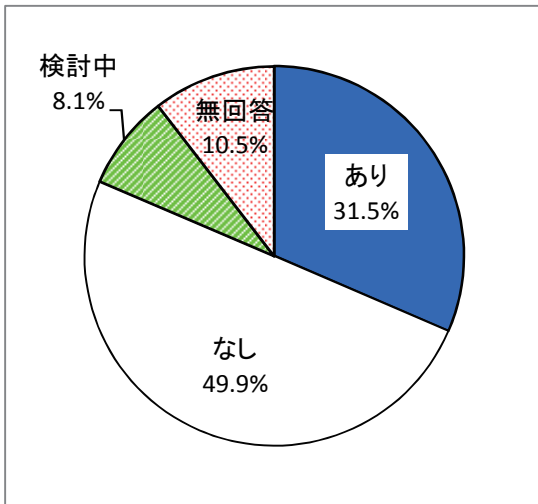


図 22. 褥瘡対策チーム

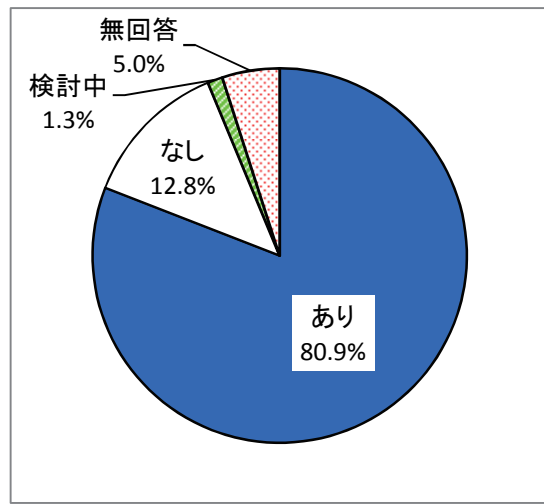


図 23. 周術期管理チーム

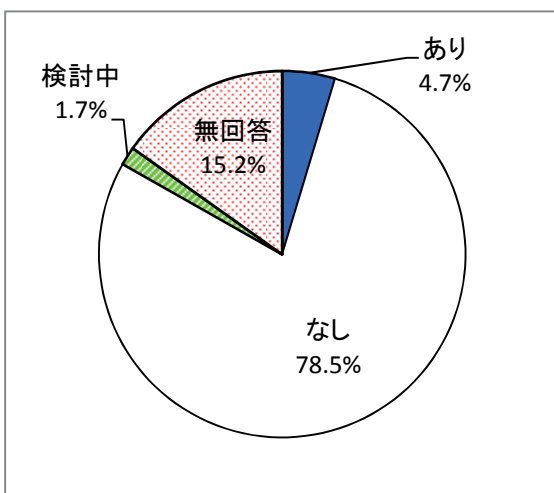
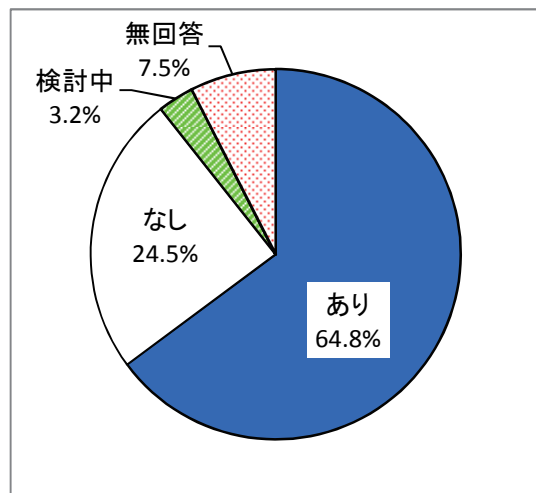


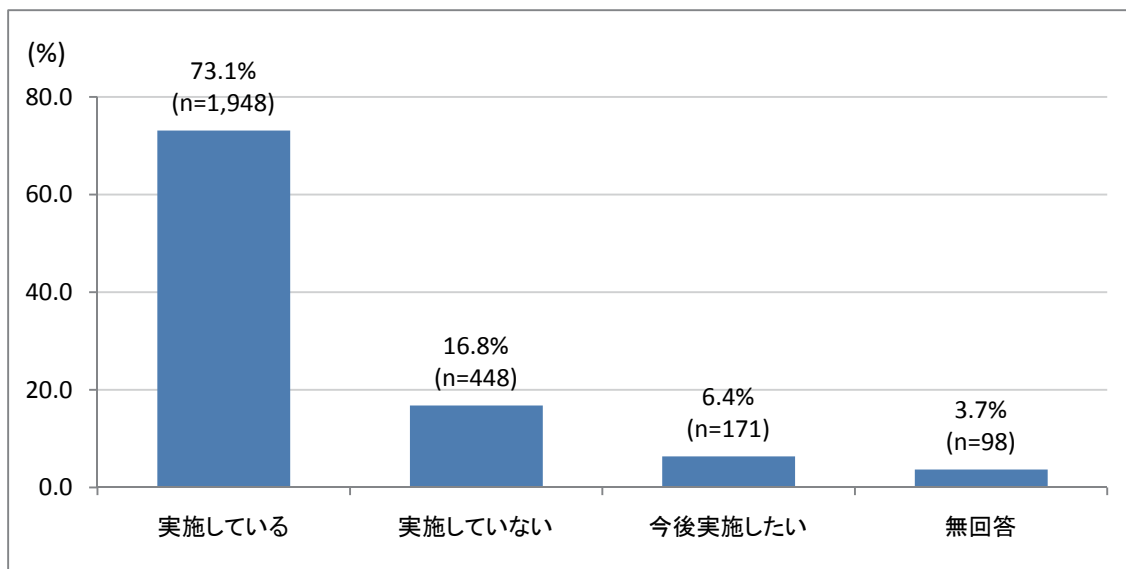
図 24. 感染制御チーム



入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理（口腔清掃等）について

図 25 には、入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理（口腔清掃等）の実施について示した。73.1%の病院では、入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理（口腔清掃等）を実施していると回答した。

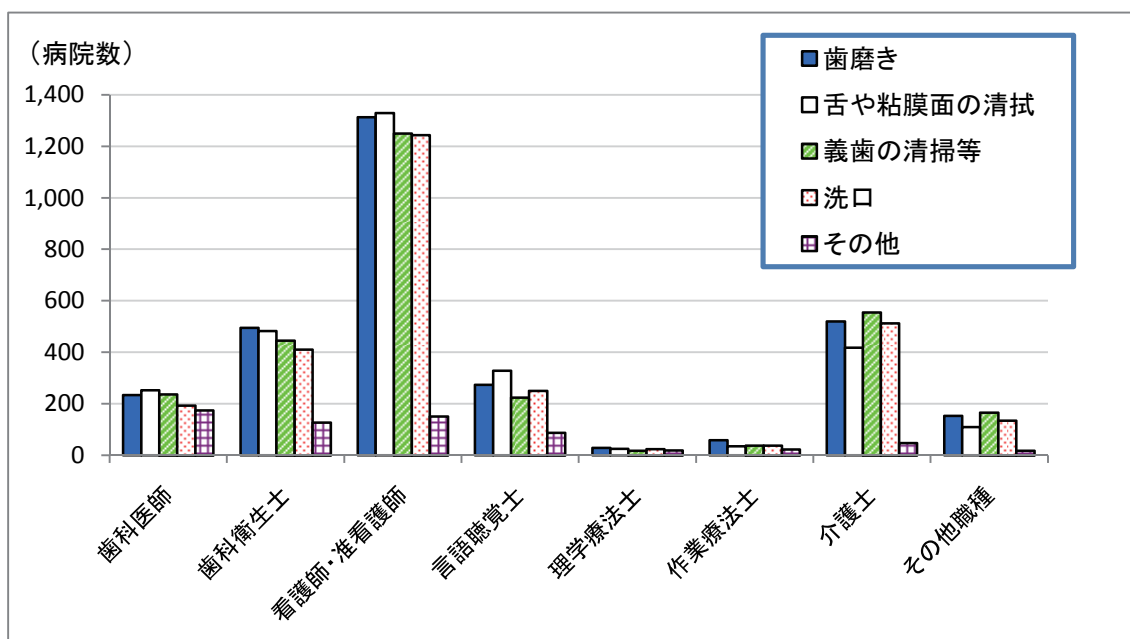
図 25. 入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理



口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容

図 26 には、口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容（重複回答）について示した。看護師・准看護師による実施が多かった。

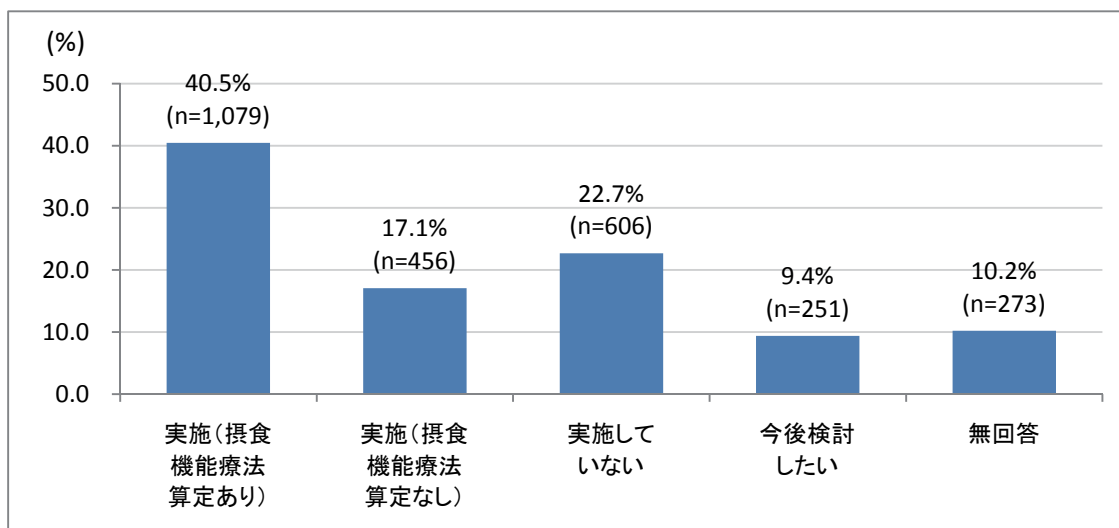
図 26. 口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容（重複回答）



入院患者の口腔機能回復（摂食・嚥下等）について

図 27 には、入院患者の口腔機能回復（摂食・嚥下等）の実施について示した。医療保険の摂食機能療法の算定の有無に関わらず、57.6%の病院において口腔機能回復を実施していた。

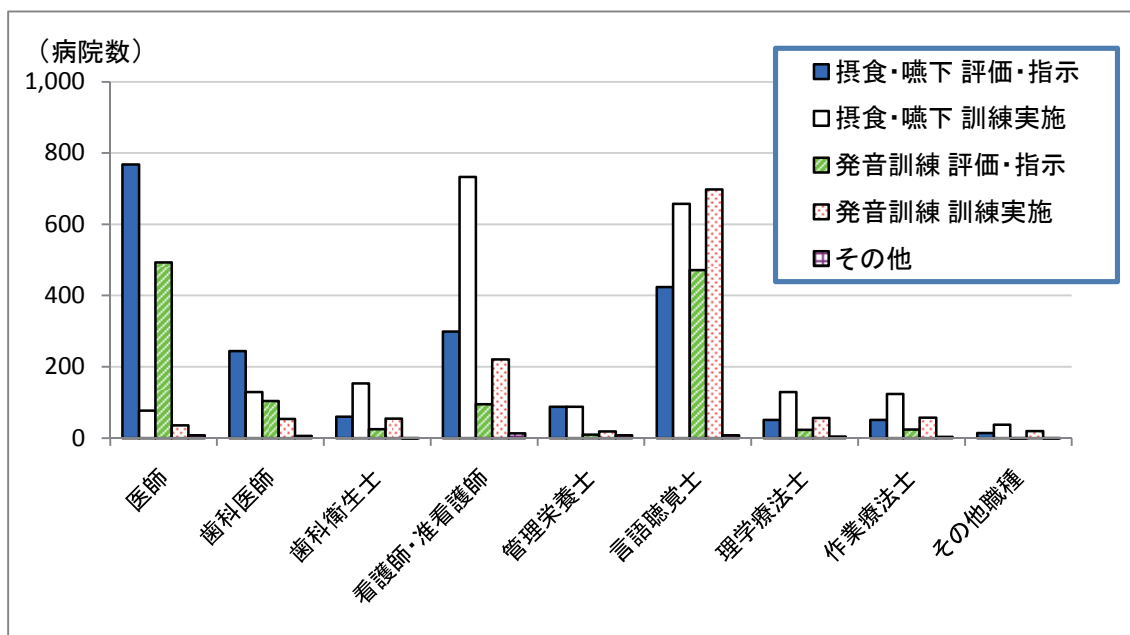
図 27. 入院患者の口腔機能回復（摂食・嚥下等）



口腔機能回復（摂食・嚥下等）の実施主体者および実施内容

図 28 には口腔機能回復（摂食・嚥下等）の実施主体者および実施内容（重複回答）を示した。全体的に言語聴覚士による実施病院数が多かった。

図 28. 口腔機能回復（摂食・嚥下等）の実施主体者および実施内容（重複回答）



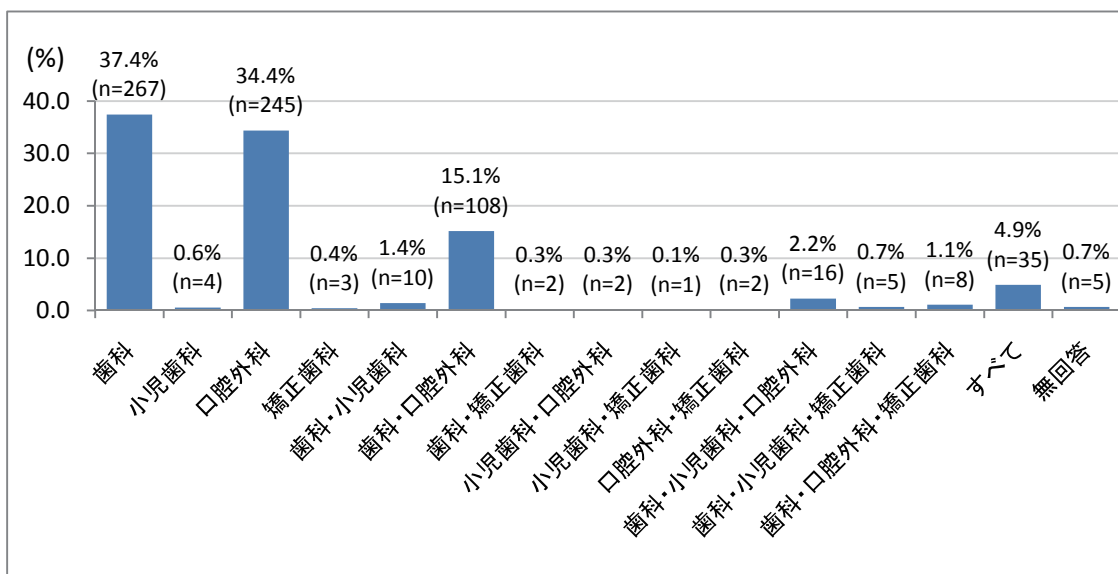
2) 歯科標榜のある病院における「歯科診療実績」の結果

ここからは歯科標榜のある 713 病院を対象とした結果を示す。

歯科標榜内容

図 29 には、歯科の標榜科名の割合を示した。「歯科」単独で標榜している病院が最も多く 37.4%を占め、次に「口腔外科」単独が多かった。

図 29. 標榜科名の割合



実施している診療内容

実施している診療内容が口腔外科治療中心か、通常の歯科治療中心か、その他であるかについて図 30 に示した。通常の歯科治療中心と回答した病院が最も多く 55%を占めた。次が口腔外科治療中心であった。

図 30. 実施している診療内容

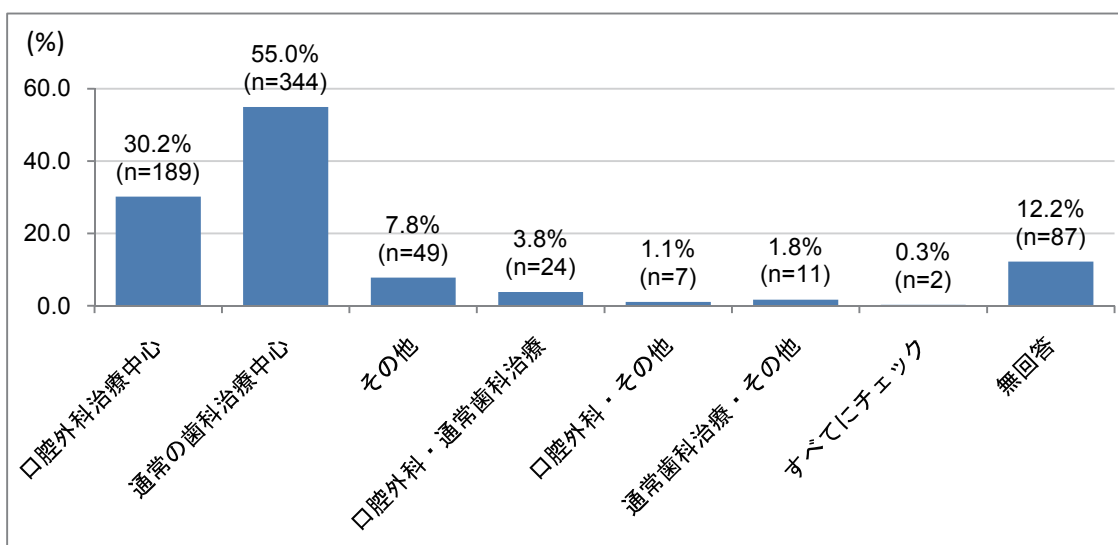
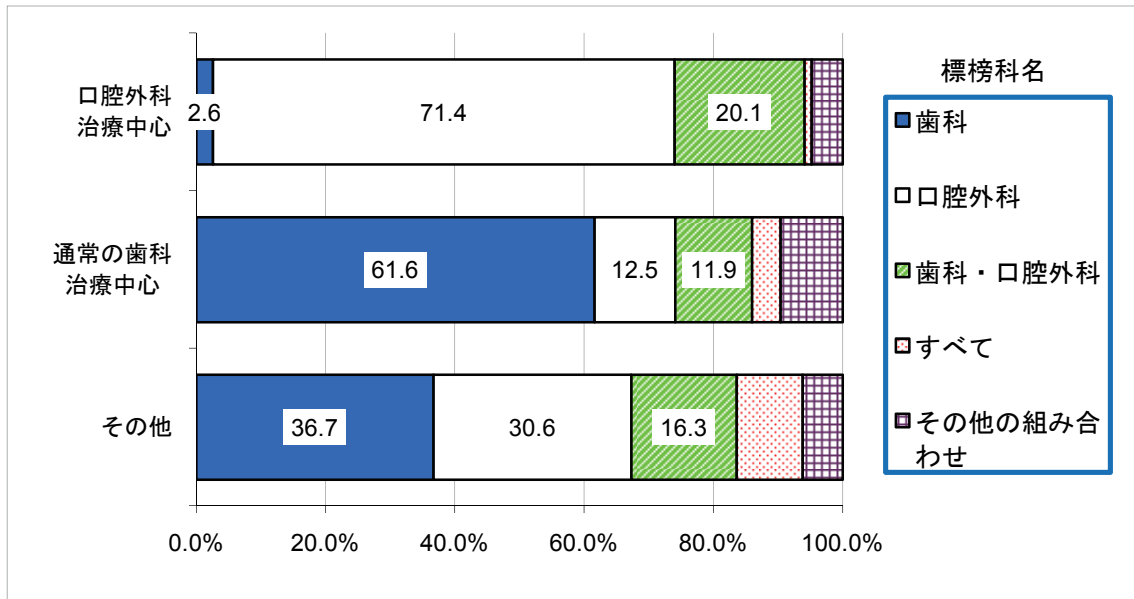


図 31. 中心とする歯科診療ごとの標榜科名（再掲）



歯科の病床数と外来チェア一数及び歯科診療実績

表 2 には、歯科病床数、外来歯科チェア一数と 1 ヶ月間（平成 22 年 10 月診療分）の歯科診療実績について示した。

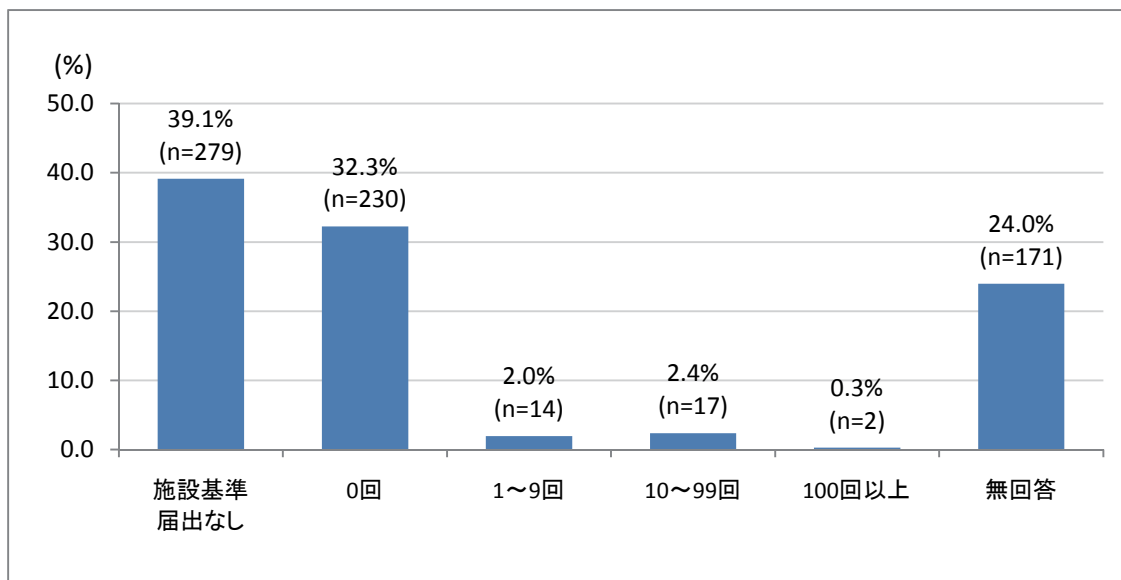
表 2. 歯科標榜のある病院の歯科病床数・外来歯科チェア一数と歯科診療実績

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値
歯科病床数（一般病床と併用含む）	7.2	51.9	0	0	1,154
外来歯科チェア一数	8.8	29.5	3	0	318
外来患者総数（10月）	1,274.5	6,244.9	477	0	130,375
うち初診患者（10月）	146.8	343.1	85	0	6,009
入院初診患者数（10月）	11.4	44.8	2	0	630
うち 1. 外傷（10月）	5.0	35.2	1	0	535
2. 外科矯正（10月）	2.3	18.6	0	0	285
3. がん腫瘍等（10月）	7.2	46.3	1	0	616
4. 炎症等（10月）	7.8	32.4	1	0	480
5. その他（10月）	26.6	80.3	4	0	900
地域歯科支援入院加算算定件数（10月）	53.6	55.7	0	0	580
歯科診療所からの紹介患者					
外来（10月）	48.8	110.3	9	0	1,198
入院（10月）	3.6	10.3	0	0	96
歯科での退院時カンファレンス実施件数（10月）	2.7	8.8	0	0	80

地域歯科支援入院加算の算定状況（再掲）

地域歯科支援入院加算の算定状況（平成 22 年 10 月）について図 32 に示した。施設基準の届け出をしていない病院の割合が最も多く歯科標榜のある病院の 39.1%であった。

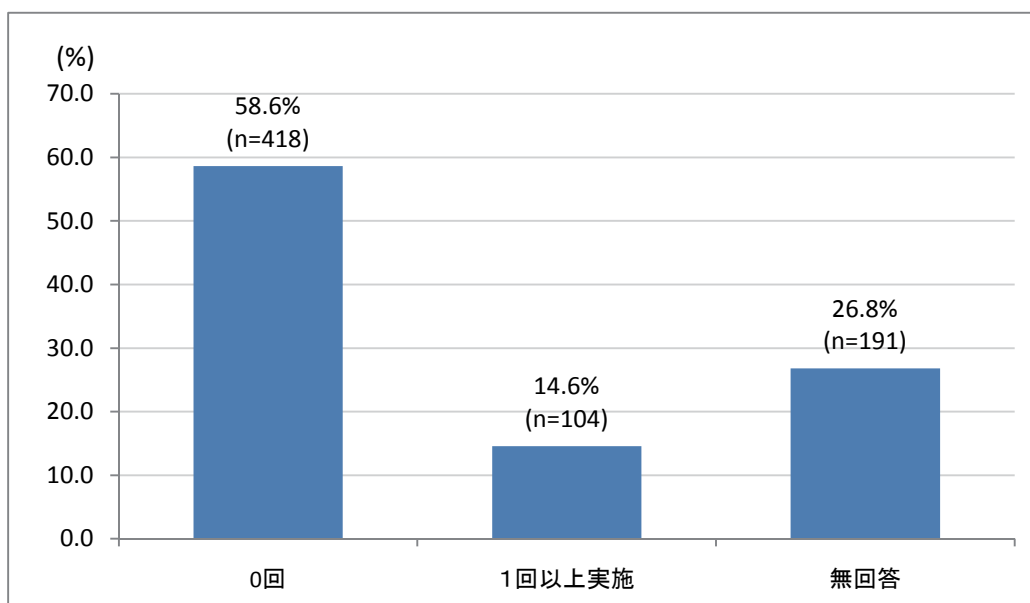
図 32. 地域歯科支援入院加算算定状況



退院時カンファレンス実施の有無（再掲）

退院時カンファレンス実施の有無を図 33 に示した。1 ヶ月間（平成 22 年 10 月）に 0 回と回答した病院が最も多く歯科標榜のある病院の 58.6%であった。

図 33. 退院時カンファレンス実施の有無



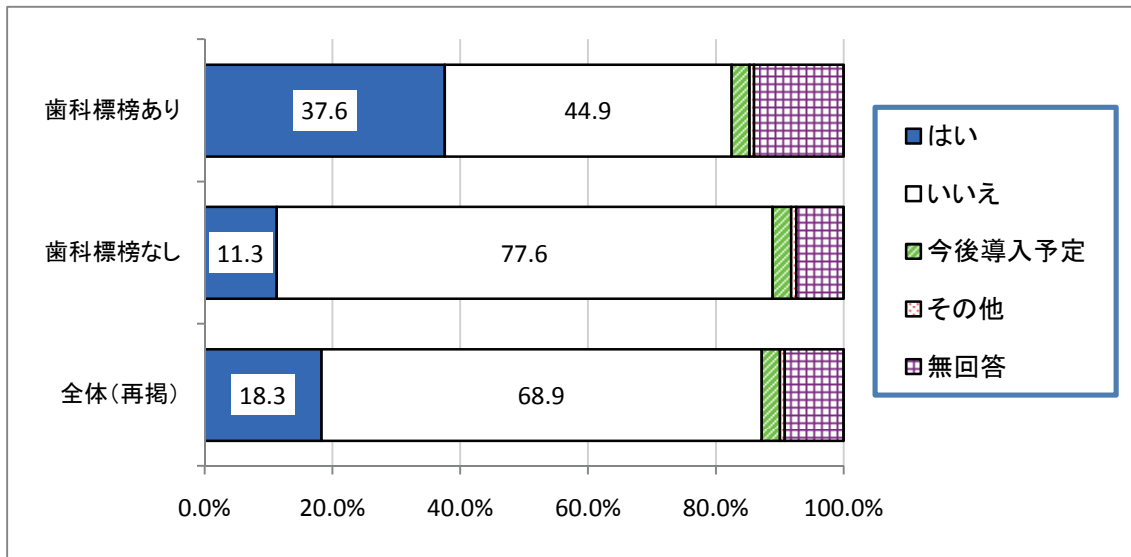
3) 歯科標榜の有無での比較（全体は再掲）

（歯科標榜あり：713 病院，歯科標榜なし：1,952 病院）

DPC対象病院かどうか

歯科標榜がある病院は、歯科標榜がない病院と比較し DPC 対象病院の割合が多かった。

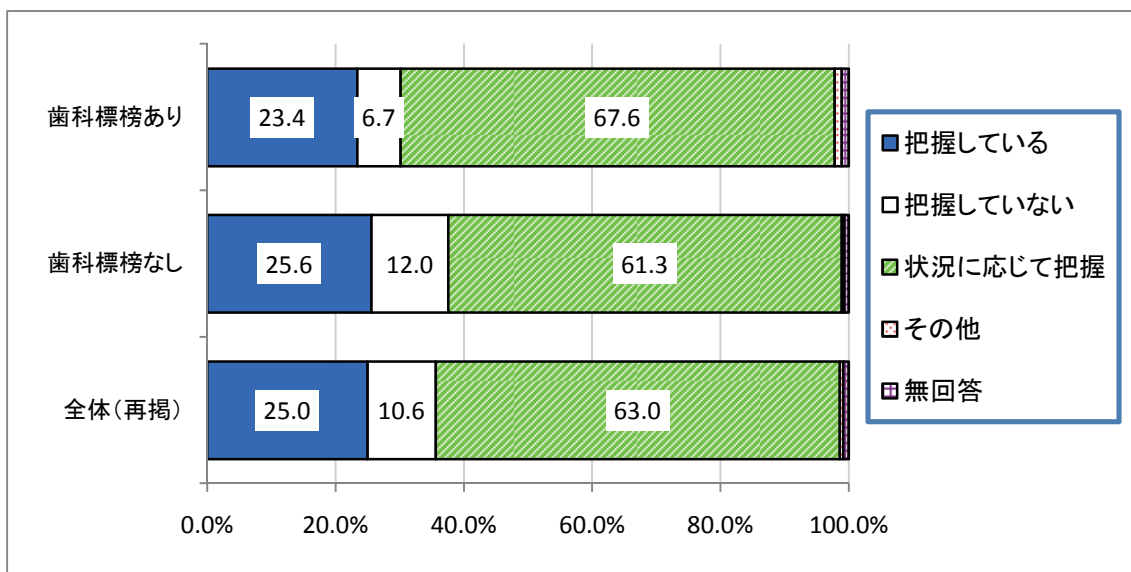
図 34. DPC対象病院かどうか（歯科標榜の有無での比較）



入院患者の歯科医療および口腔内情報について

入院患者の歯科医療および口腔内の情報を把握しているかどうかについて、歯科標榜の有無で比較すると、把握していると回答した病院の割合は、歯科標榜のある病院の方が若干少なかった。

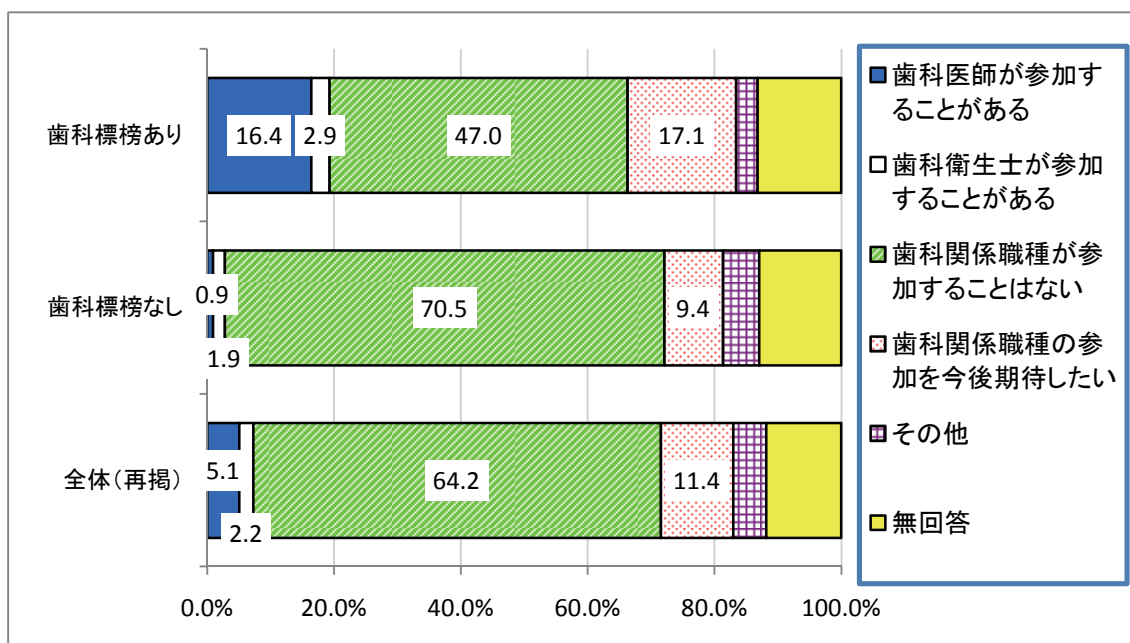
図 35. 入院患者の歯科医療および口腔内の情報（歯科標榜の有無での比較）



退院時カンファレンスの実施状況

図 36 には退院時カンファレンスの実施状況を歯科標榜の有無で比較した。歯科標榜のある病院では歯科関係職種の参加率が高かった。

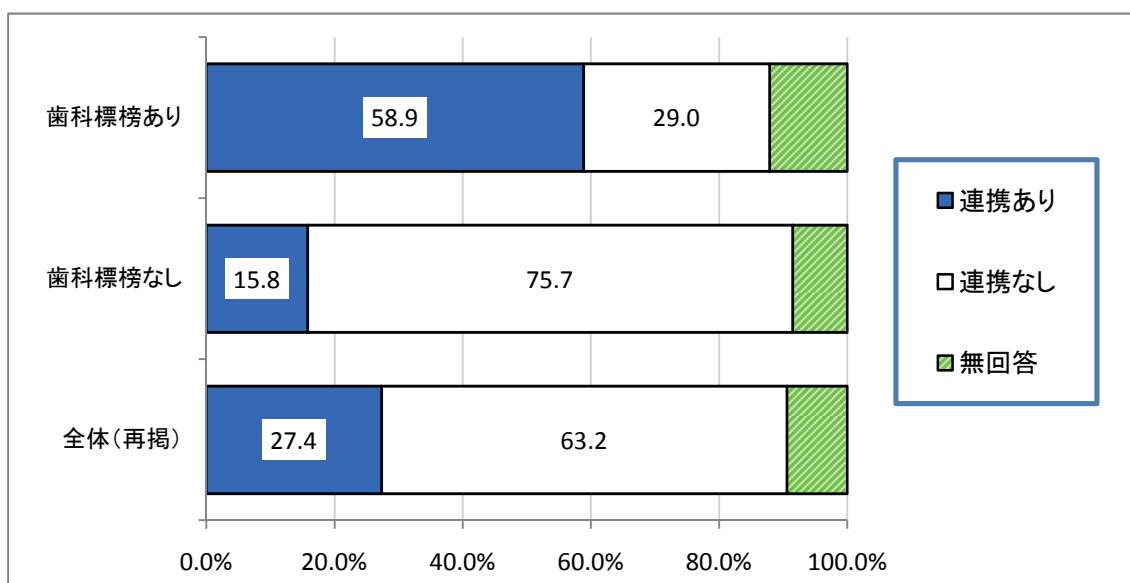
図 36. 退院時カンファレンスの実施状況（歯科標榜の有無での比較）



歯科医療に関して地域歯科医師会との連携の有無

歯科標榜がある病院は、歯科標榜のない病院と比較し、約 4 倍地域歯科医師会と連携がとれていると回答した割合が多かった。

図 37. 地域歯科医師会との連携（歯科標榜の有無での比較）



4) チーム医療に関する結果（歯科標榜有無別）

図 38 には、歯科標榜のある病院における各チームの設置割合と歯科医療職種の関与割合を示した。NST、摂食・嚥下、口腔ケアにおいて歯科医療職種の関与割合が高かった。

図 38. 歯科標榜のある病院での各チーム医療設置割合と歯科医療職種関与割合（713 病院）

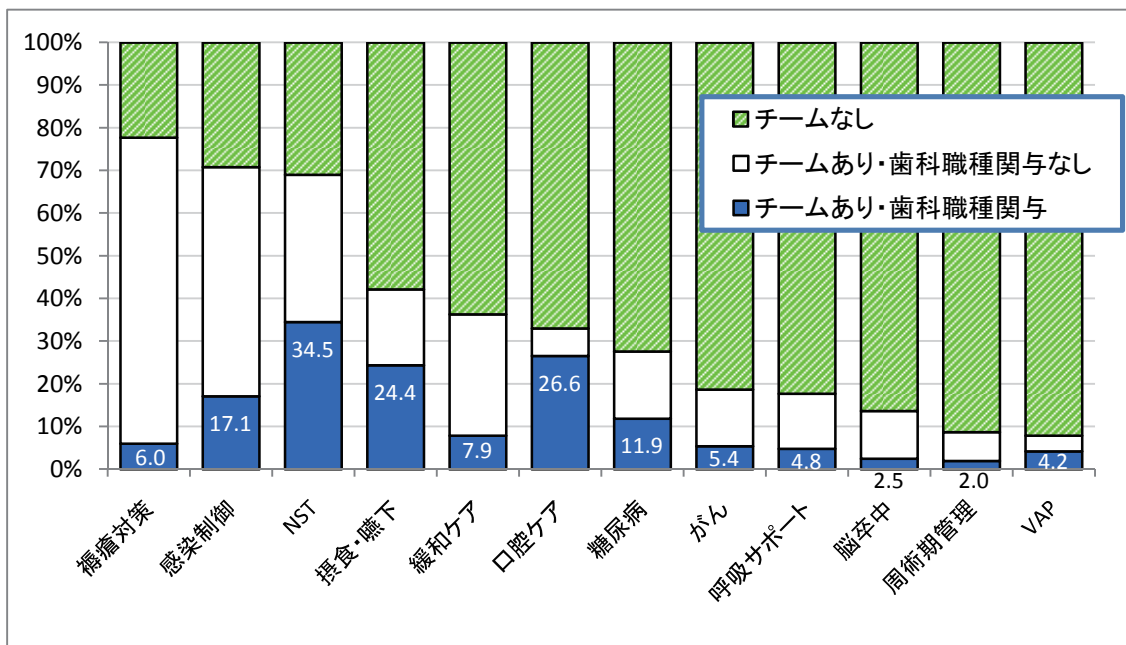


図 39 には歯科標榜のない病院における各チーム設置割合と歯科関係職種関与割合を示した。

図 39. 歯科標榜のない病院での各チーム設置割合と歯科医療職種関与割合（1,952 病院）

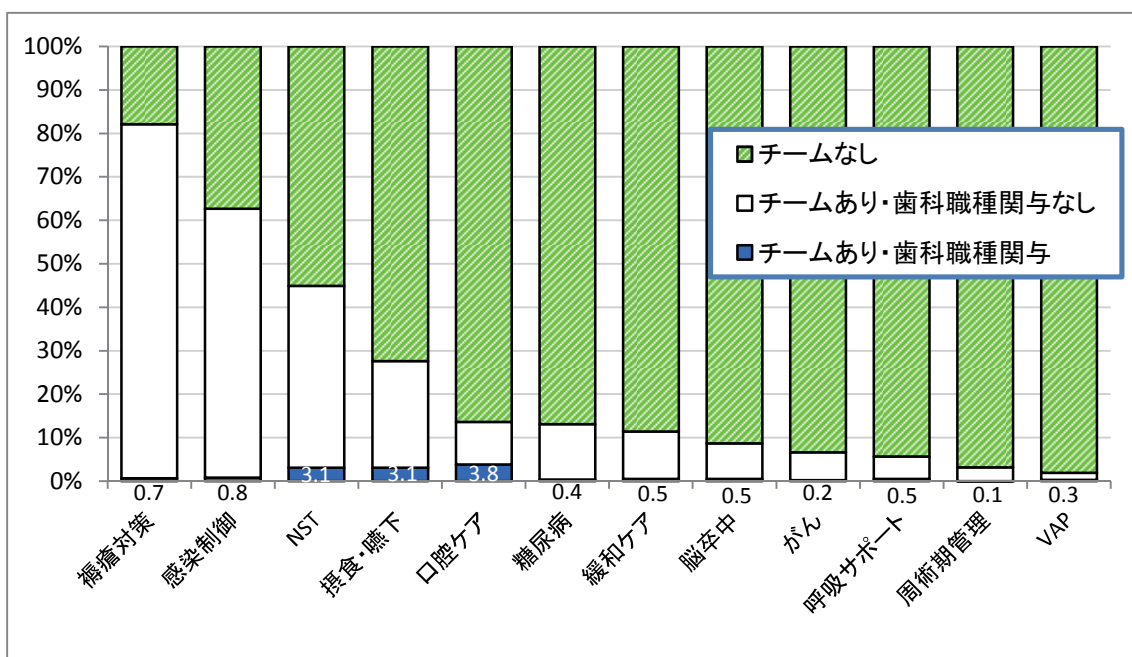
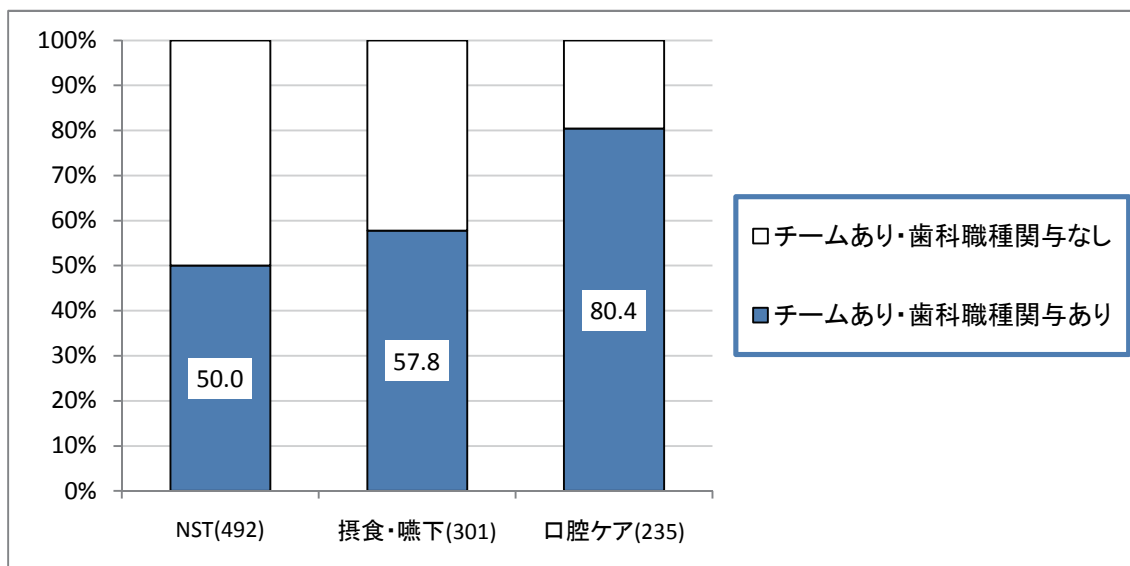


図 40 には、歯科標榜のある病院の中で、NST、摂食・嚥下、口腔ケアチームのある病院における歯科医療職種関与割合を示した（再掲）。歯科標榜があり、かつ口腔ケアチームが存在する病院の 80.4%は歯科医療職種の関与が見られた。

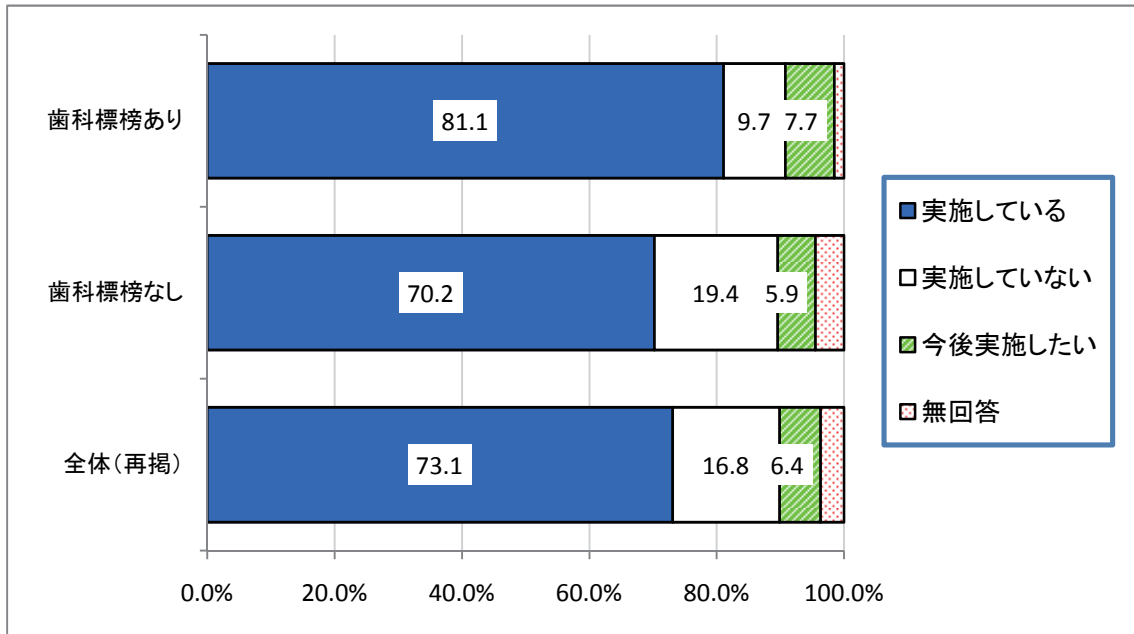
図 40. NST、摂食・嚥下、口腔ケアチームのある病院と歯科医療職種関与割合（再掲）



5) 口腔ケアを含めた歯科的管理、口腔機能回復（歯科標榜有無別）

歯科標榜のある病院では、歯科標榜のない病院に比べて入院患者の歯科的管理（口腔ケアを含む）を実施している割合が約10%高かった。

図 41. 入院患者の歯科的管理実施割合（歯科標榜の有無での比較）



口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容（歯科標榜有無別）

歯科標榜のある病院では、口腔ケア等（歯科的管理）実施者は、看護師・准看護師と同レベルで歯科衛生士が実施していた。

図 42. 歯科標榜のある病院における口腔ケア等（歯科的管理）実施者割合（重複回答）

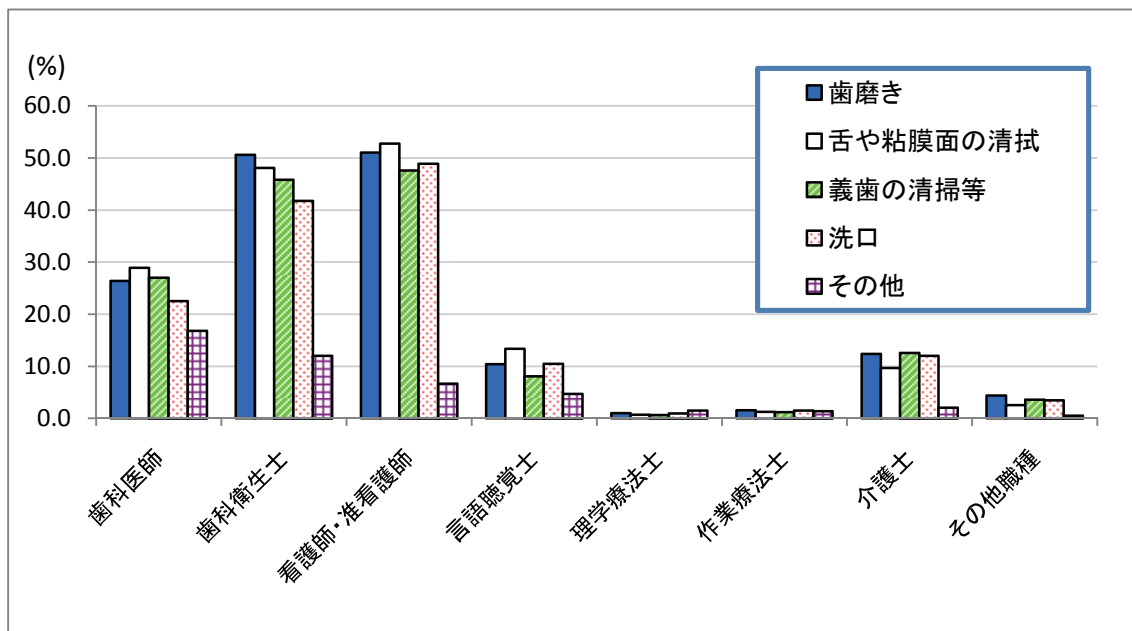
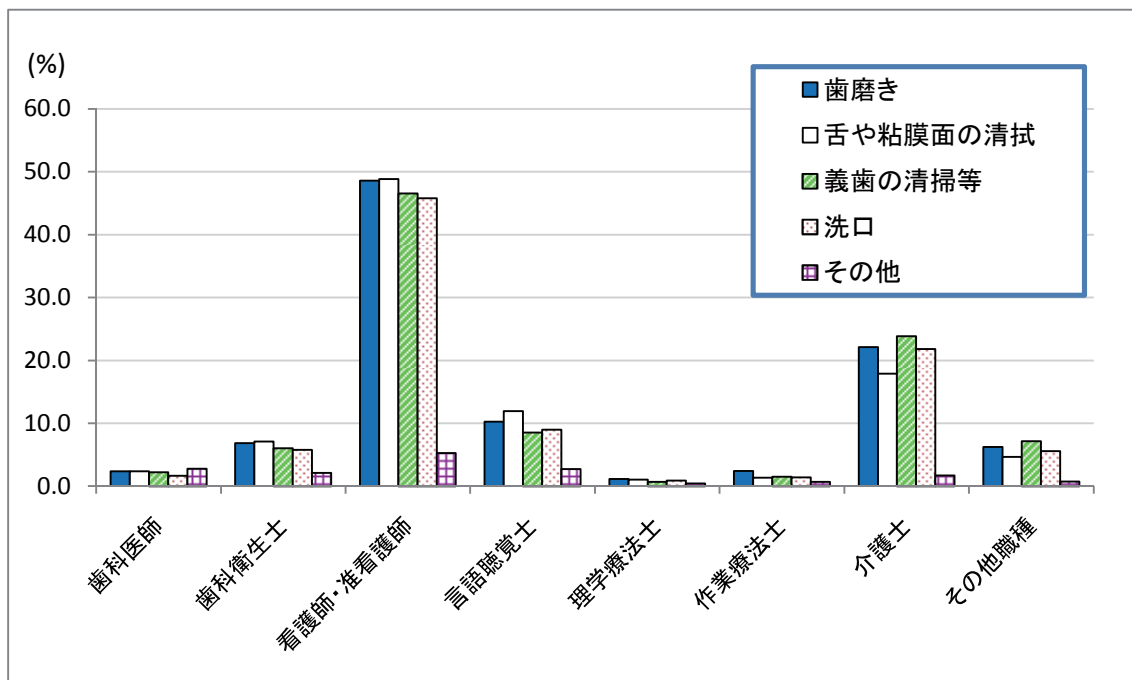


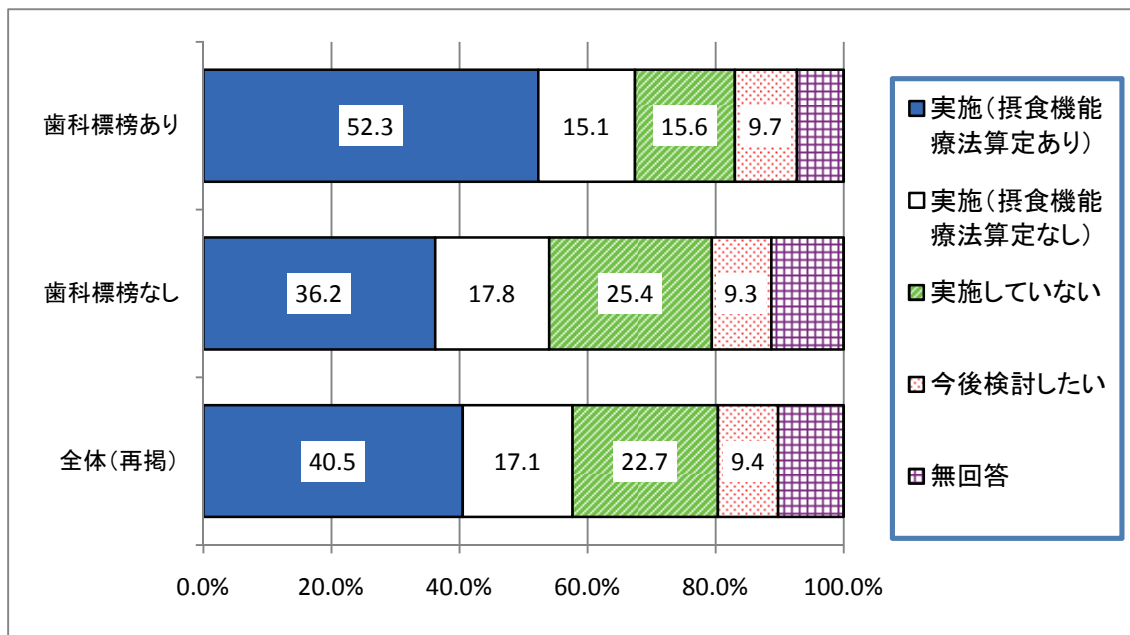
図 43. 歯科標榜のない病院における口腔ケア等（歯科的管理）実施者割合（重複回答）



入院患者の口腔機能回復（摂食・嚥下等）について（歯科標榜有無別）

入院患者の口腔機能回復について歯科標榜の有無での比較を図 44 に示した。歯科標榜のある病院では、歯科標榜のない病院に比べて口腔機能回復について実施している割合が高かった。

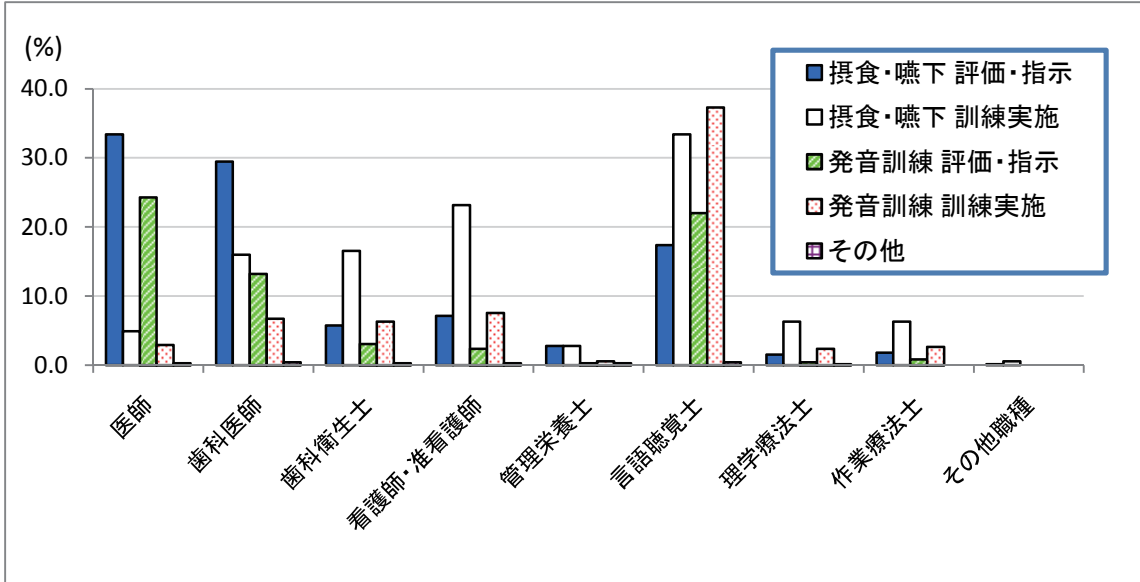
図 44. 入院患者の口腔機能回復（歯科標榜の有無での比較）



口腔機能回復の実施主体者および実施内容

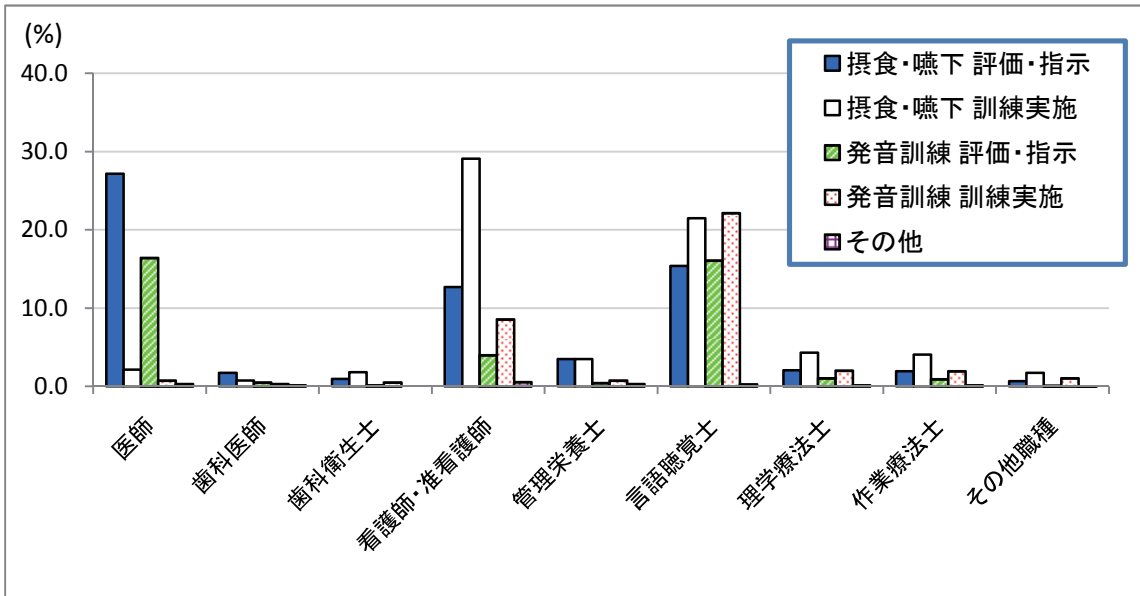
歯科標榜のある病院において摂食・嚥下評価については医師に続き歯科医師の実施割合が高かった。

図 45. 歯科標榜のある病院での口腔機能回復実施者割合（重複回答）



歯科標榜のない病院における口腔機能回復実施者は言語聴覚士の割合が高かった。

図 46. 歯科標榜のない病院における口腔機能回復実施者割合（重複回答）



6) 結果のまとめ

◆ 全病院への調査

平成22年10月時点で独立行政法人福祉医療機構 WAM NET に公表されている全病院を対象とした。病院の休止・廃止および診療所への転向を明記したもの等を除く 8,750 病院に対し、有効回答のあった 2,665 病院を集計した。有効回答率は 30.5%であった。

◆ 全体結果

- ・ 歯科標榜のある病院は全体の 26.8% (713 病院) であった。
- ・ DPC 対象病院は全体の 18.3%であった。
- ・ 入院患者の歯科医療および口腔内情報について 88.0%は把握している、あるいは状況に応じて把握していると回答し、把握していない病院は 10.6%であった。
- ・ 退院時カンファレンスに歯科医療職種が参加すると回答した病院は、7.3%に過ぎず、64.2%は歯科職種の参加がないと回答した。
- ・ 地域歯科医師会との連携は約 27.4%がありと回答し、63.2%はなしと回答した。
- ・ DPC 対象病院では、そうでない病院と比較しチームの設置が進んでいた。
- ・ 病院の 87.1%では何らかのチームを設置していた。
病院に存在するチームでは、褥瘡 (80.9%) が最も多かった。次いで、感染制御 (64.8%)、NST (栄養サポートチーム) (51.4%)、摂食・嚥下 (31.5%)、口腔ケア (18.8%)、緩和ケア (18.1%)、糖尿病 (17.0%) の順であった。
- ・ 入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理 (口腔清掃等) は 73.1%の病院が実施していると回答し、看護師・准看護師が実施している病院が多かった。
- ・ 入院患者の口腔機能回復 (摂食・嚥下等) については、57.6%の病院が実施していた。

◆ 歯科を標榜する 713 病院

- ・ チーム医療の中で、NST、摂食・嚥下、口腔ケアチームへの歯科医療職種関与の割合が比較的高かった。
- ・ 入院患者の歯科的管理 (口腔ケアを含む) 実施割合は 81.1%であり全体と比較してやや高かった。口腔ケア実施者は看護師・准看護師と歯科衛生士はほぼ同割合であった。
- ・ 入院患者の摂食・嚥下評価や指示は医師とともに歯科医師の実施も同程度であった。

◆ 歯科標榜のない 1,952 病院

- ・ 75.7%の病院で地域歯科医師会との連携がないと回答した。
- ・ 入院患者の歯科的管理 (口腔ケアを含む) 実施割合は 70.2%であった。
- ・ 歯科がない病院におけるチームの中にも、若干ではあるが歯科医療職種が関与している実態が確認された。

3. 考 察

厚生労働省のチーム医療推進方策検討 WG において、医科と歯科との連携が論議の俎上に上がることが想定されたことから、日本歯科総合研究機構は全国の病院を対象に、歯科医療の位置づけや院内の医療チームにおける歯科医療職種の係わり方等について調査を実施した。

今回の調査は、事前に日本医師会、日本病院会、全日本病院協会、全国自治体病院協議会、日本医療法人協会等病院団体等と打ち合わせを行った上で実施した。このことから、調査期間が短かったにもかかわらず同様な過去の調査と比較しても遜色の無い回答数が得られた。

得られた結果から注目されるものは、病院におけるチームの中で、摂食・嚥下（31.5%）、口腔ケア（18.8%）のチームが存在し順位として、各々4位と5位であったことである。最も多い褥瘡対策チームの設置率が最も高く、80.9%の病院に設置されていたのに比べると低い割合であった。しかし、1位から4位は診療報酬で点数設定されているものであることを考慮すると5位の口腔ケアチームの割合と順位は留意すべきものと思われる。また、入院患者の口腔ケアは73.1%の病院で実施されており、チームの有無と口腔ケアの実施との間に乖離のあることが分った。さらに、口腔ケアの主たる実施者を看護師としている病院が極めて多いことが認められた。歯科標榜のある病院においても、口腔ケア等歯科的管理を実施している者は、看護師が歯科衛生士とほぼ同じ割合であったことと合わせて注目すべきことである。

歯科標榜のある病院において歯科職種が関与しているチームは、NSTが最も高く34.5%であり、ついで口腔ケアが26.6%であり摂食・嚥下が24.4%と続いていた。また、歯科標榜のある病院において口腔ケアチームに歯科医療職種が関与していない病院が約2割あったことは、病院の歯科のあり方を検討するうえで考慮すべきことと思われる。

歯科標榜の無い病院は、全体として各チームの設置状況が低いことが認められた。これは、歯科標榜のある病院は大規模な病院が多く、病院そのものの機能による要素が背景にあることが考えられた。一方で、歯科標榜の無い病院でもNST、摂食・嚥下、口腔ケアの3つのチームで歯科医療職種の関与が3%程認められた。病院と外部の歯科医療機関との連携が、わずかではあるが存在しており、今後の病院と診療所との連携を模索する上で重要なことと思われた。

4. 集計結果

表1. 対象病院数、有効回答数および回収率

対象病院数	8,750
有効回答数	2,665
有効回答率	30.5%

図1. 有効回答病院の地域別構成割合

地区	N	%
北海道	182	6.8
東北	225	8.4
関東(東京都を除く)	512	19.2
東京	187	7.0
北陸	96	3.6
東海	245	9.2
近畿	372	14.0
中国	221	8.3
四国	151	5.7
九州	474	17.8
合計	2,665	100.0

図2. 有効回答病院の都道府県別構成割合—医療施設調査(平成21年)との比較—

都道府県	N	有効回答病院 の構成割合	H21医療施設 動態調査結果より 算出した病院構成 割合
北海道	182	6.8	6.7
青森県	35	1.3	1.2
岩手県	42	1.6	1.1
宮城県	52	2.0	1.7
秋田県	32	1.2	0.9
山形県	26	1.0	0.8
福島県	38	1.4	1.6
茨城県	54	2.0	2.2
栃木県	35	1.3	1.3
群馬県	43	1.6	1.6
埼玉県	93	3.5	4.0
千葉県	82	3.1	3.2
東京都	187	7.0	7.4
神奈川県	82	3.1	4.0
新潟県	51	1.9	1.5
富山県	41	1.5	1.3
石川県	35	1.3	1.2
福井県	20	0.8	0.9
山梨県	19	0.7	0.7
長野県	53	2.0	1.5
岐阜県	25	0.9	1.2
静岡県	70	2.6	2.1
愛知県	120	4.5	3.8
三重県	30	1.1	1.2
滋賀県	30	1.1	0.7
京都府	46	1.7	2.0
大阪府	130	4.9	6.2
兵庫県	116	4.4	4.0
奈良県	31	1.2	0.9
和歌山県	19	0.7	1.1
鳥取県	21	0.8	0.5
島根県	15	0.6	0.6
岡山県	60	2.3	2.0
広島県	78	2.9	2.9
山口県	47	1.8	1.7
徳島県	29	1.1	1.4
香川県	25	0.9	1.1
愛媛県	59	2.2	1.6
高知県	38	1.4	1.6
福岡県	141	5.3	5.4
佐賀県	22	0.8	1.3
長崎県	54	2.0	1.9
熊本県	69	2.6	2.5
大分県	41	1.5	1.9
宮崎県	43	1.6	1.6
鹿児島県	76	2.9	3.1
沖縄県	28	1.1	1.1
合計	2,665	100.0	100.0

図3. 歯科標榜病院の割合

	n	%
歯科標榜なし	1,952	73.2
歯科標榜あり	713	26.8

図4. DPC対象病院かどうか

	n	%
はい	488	18.3
いいえ	1,835	68.9
今後導入予定	77	2.9
その他	20	0.8
無回答	245	9.2

図5. 全従業員数の割合

	n	%
～19名	4	0.2
20～49名	134	5.0
50～99名	525	19.7
100～199名	762	28.6
200名以上	1,033	38.8
無回答	207	7.8

図6. 入院患者の歯科医療および口腔情報について

	n	%
把握している	666	25.0
把握していない	283	10.6
状況に応じて把握	1,679	63.0
その他	15	0.6
無回答	22	0.8

図7. 入院患者に緊急に歯科治療が必要となった場合の対応

	n	%
院内歯科医師対応	610	22.9
院外歯科医師対応	1,745	65.5
対応は不十分	92	3.5
無回答	218	8.2

図8. 退院時カンファレンスの実施状況

	n	%
歯科医師が参加することがある	135	5.1
歯科衛生士が参加することがある	59	2.2
歯科関係職種が参加することはない	1,712	64.2
歯科関係職種の参加を今後期待したい	305	11.4
その他	138	5.2
無回答	316	11.9

図9. 地域連携室の有無

	n	%
あり	1,660	62.3
なし	665	25.0
今後導入予定	80	3.0
その他	49	1.8
無回答	211	7.9

図10. 歯科医療に関して地域歯科医師会との連携の有無

	n	%
連携あり	729	27.4
連携なし	1,685	63.2
無回答	251	9.4

図11. 各チームの設置割合

チーム設置割合(全体)	87.1
褥瘡対策	80.9
感染制御	64.8
NST	51.4
摂食・嚥下	31.5
口腔ケア	18.8
緩和ケア	18.1
糖尿病	17.0
脳卒中	10.0
がん	9.8
呼吸サポート	8.9
周術期管理	4.7
VAP	3.5

図12. DPC対象病院か、そうでないかとチーム設置割合(再掲)

	DPC対象 (488)	DPC対象でない (1,835)
チーム設置割合(全体)	96.9	83.9
褥瘡対策	88.7	78.4
感染制御	82.6	58.9
NST	90.2	38.9
摂食・嚥下	46.7	25.9
口腔ケア	31.8	14.2
緩和ケア	56.1	6.5
糖尿病	41.0	10.2
脳卒中	19.9	6.8
がん	27.7	3.9
呼吸サポート	28.9	3.4
周術期管理	12.1	2.6
VAP	10.7	1.3

図13. NST連携(栄養サポート)チーム

	n	%
あり	1,369	51.4
なし	923	34.6
検討中	203	7.6
無回答	170	6.4

図14. がん患者連携チーム

	n	%
あり	261	9.8
なし	1,962	73.6
検討中	114	4.3
無回答	328	12.3

図15. 脳卒中患者連携チーム

	n	%
あり	267	10.0
なし	1,952	73.2
検討中	96	3.6
無回答	350	13.1

図16. 糖尿病患者連携チーム

	n	%
あり	452	17.0
なし	1,761	66.1
検討中	125	4.7
無回答	327	12.3

図17. 緩和ケア連携チーム

	n	%
あり	482	18.1
なし	1,758	66.0
検討中	117	4.4
無回答	308	11.6

図18. 口腔ケアチーム

	n	%
あり	501	18.8
なし	1,636	61.4
検討中	219	8.2
無回答	309	11.6

図19. 呼吸サポートチーム

	n	%
あり	237	8.9
なし	1,957	73.4
検討中	100	3.8
無回答	371	13.9

図20. 人工呼吸器関連肺炎(VAP)チーム

	n	%
あり	94	3.5
なし	2,111	79.2
検討中	84	3.2
無回答	376	14.1

図21. 摂食・嚥下チーム

	n	%
あり	839	31.5
なし	1,331	49.9
検討中	216	8.1
無回答	279	10.5

図22. 褥瘡対策チーム

	n	%
あり	2,156	80.9
なし	342	12.8
検討中	35	1.3
無回答	132	5.0

図23. 周術期管理チーム

	n	%
あり	124	4.7
なし	2,093	78.5
検討中	44	1.7
無回答	404	15.2

図24. 感染制御チーム

	n	%
あり	1,728	64.8
なし	653	24.5
検討中	84	3.2
無回答	200	7.5

図25. 入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理

	n	%
実施している	1,948	73.1
実施していない	448	16.8
今後実施したい	171	6.4
無回答	98	3.7

図26. 口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容(重複回答)

	歯磨き	舌や粘膜面の清拭	義歯の清掃等	洗口	その他
歯科医師	234	252	237	194	175
歯科衛生士	495	482	446	412	128
看護師・准看護師	1,312	1,329	1,250	1,244	152
言語聴覚士	274	328	225	251	88
理学療法士	29	25	19	25	20
作業療法士	58	35	39	39	24
介護士	520	418	556	513	49
その他職種	153	109	167	135	19

図27. 入院患者の口腔機能回復(摂食・嚥下等)

	n	%
実施 (摂食機能療法算定あり)	1,079	40.5
実施 (摂食機能療法算定なし)	456	17.1
実施していない	606	22.7
今後検討したい	251	9.4
無回答	273	10.2

図28. 口腔機能回復(摂食・嚥下等)の実施主体者および実施内容(重複回答)

	摂食・嚥下 評価・指示	摂食・嚥下 訓練実施	発音訓練 評価・指示	発音訓練 訓練実施	その他
医師	768	77	493	36	8
歯科医師	244	129	104	54	6
歯科衛生士	60	153	25	55	2
看護師・准看護師	299	733	95	221	13
管理栄養士	88	88	10	19	8
言語聴覚士	424	657	471	698	8
理学療法士	51	129	23	56	4
作業療法士	51	124	24	57	3
その他職種	14	38	2	20	1

図29. 標榜科名の割合

	n	%
歯科	267	37.4
小児歯科	4	0.6
口腔外科	245	34.4
矯正歯科	3	0.4
歯科・小児歯科	10	1.4
歯科・口腔外科	108	15.1
歯科・矯正歯科	2	0.3
小児歯科・口腔外科	2	0.3
小児歯科・矯正歯科	1	0.1
口腔外科・矯正歯科	2	0.3
歯科・小児歯科・口腔外科	16	2.2
歯科・小児歯科・矯正歯科	5	0.7
歯科・口腔外科・矯正歯科	8	1.1
すべて	35	4.9
無回答	5	0.7

図30. 実施している診療内容

	n	%
口腔外科治療中心	189	30.2
通常の歯科治療中心	344	55.0
その他	49	7.8
口腔外科・通常歯科治療	24	3.8
口腔外科・その他	7	1.1
通常歯科治療・その他	11	1.8
すべてにチェック	2	0.3
無回答	87	12.2

図31. 中心とする歯科診療ごとの標榜科名(再掲)

	歯科	口腔外科	歯科・口腔外科	すべて	その他の組み合わせ
口腔外科処置中心	2.6	71.4	20.1	1.1	4.8
通常の歯科治療中心	61.6	12.5	11.9	4.4	9.6
その他	36.7	30.6	16.3	10.2	6.2

表2. 歯科標榜のある病院の歯科病床数・外来歯科チェア数と歯科診療実績

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値
歯科病床数 (一般病床と併用含む)	7.2	51.9	0	0	1,154
外来歯科チェア数	8.8	29.5	3	0	318
外来患者総数(10月)	1274.5	6244.9	477	0	130,375
うち初診患者(10月)	146.8	343.1	85	0	6,009
入院初診患者数(10月)	11.4	44.8	2	0	630
うち 1. 外傷 (10月)	5.0	35.2	1	0	535
2. 外科矯正 (10月)	2.3	18.6	0	0	285
3. がん腫瘍等 (10月)	7.2	46.3	1	0	616
4. 炎症等 (10月)	7.8	32.4	1	0	480
5. その他 (10月)	26.6	80.3	4	0	900
地域歯科支援入院加算 算定件数(10月)	53.6	55.7	0	0	580
歯科診療所からの 紹介患者					
外来(10月)	48.8	110.3	9	0	1,198
入院(10月)	3.6	10.3	0	0	96
歯科での退院時カンファ レンス実施件数(10月)	2.7	8.8	0	0	80

図32. 地域歯科支援入院加算算定状況

	n	%
施設基準届出なし	279	39.1
0回	230	32.3
1~9回	14	2.0
10~99回	17	2.4
100回以上	2	0.3
無回答	171	24.0

図33. 退院時カンファレンス実施の有無

	n	%
0回	418	58.6
1回以上実施	104	14.6
無回答	191	26.8

図34. DPC対象病院かどうか(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
はい	268	220	488
いいえ	320	1,515	1,835
今後導入予定	20	57	77
その他	5	15	20
無回答	100	145	245

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	37.6	11.3	18.3
	44.9	77.6	68.9
	2.8	2.9	2.9
	0.7	0.8	0.8
	14.0	7.4	9.2

図35. 入院患者の歯科医療および口腔内の情報(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
把握している	167	499	666
把握していない	48	235	283
状況に応じて把握	482	1,197	1,679
その他	8	7	15
無回答	8	14	22

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	23.4	25.6	25.0
	6.7	12.0	10.6
	67.6	61.3	63.0
	1.1	0.4	0.6
	1.1	0.7	0.8

図36. 退院時カンファレンスの実施状況(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
歯科医師が参加することがある	117	18	135
歯科衛生士が参加することがある	21	38	59
歯科関係職種が参加することはない	335	1,377	1,712
歯科関係職種の参加を今後期待したい	122	183	305
その他	24	114	138
無回答	94	222	316

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	16.4	0.9	5.1
	2.9	1.9	2.2
	47.0	70.5	64.2
	17.1	9.4	11.4
	3.4	5.8	5.2
	13.2	13.2	11.9

図37. 地域歯科医師会との連携(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
連携あり	420	309	729
連携なし	207	1,478	1,685
無回答	86	165	251

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	58.9	15.8	27.4
	29.0	75.7	63.2
	12.1	8.5	9.4

図38. 歯科標榜のある病院での各チーム医療設置割合と歯科職種関与割合(歯科標榜713病院)

	チーム設置割合 (全体)	褥瘡対策	感染制御	NST	摂食・嚥下
チームあり・ 歯科職種関与あり	54.0	6.0	17.1	34.5	24.4
チームあり・ 歯科職種関与なし	35.6	71.7	53.7	34.5	17.8
チームなし	10.4	22.3	29.2	31.0	57.8

	緩和ケア	口腔ケア	糖尿病	がん	呼吸サポート
	7.9	26.6	11.9	5.4	4.8
	28.4	6.4	15.7	13.3	12.9
	63.7	67.0	72.4	81.3	82.3

	脳卒中	周術期管理	VAP
	2.5	2.0	4.2
	11.2	6.7	3.7
	86.3	91.3	92.1

図39. 歯科標榜のない病院での各チーム設置割合と歯科職種関与割合(1,952病院)

	チーム設置割合 (全体)	褥瘡対策	感染制御	NST	摂食・嚥下
チームあり・ 歯科職種関与あり	54.0	0.7	0.8	3.1	3.1
チームあり・ 歯科職種関与なし	35.6	81.4	61.9	41.8	24.5
チームなし	10.4	17.9	37.3	55.1	72.4

	口腔ケア	糖尿病	緩和ケア	脳卒中	がん
	3.8	0.4	0.5	0.5	0.2
	9.8	12.7	10.9	8.2	6.4
	86.4	86.9	88.6	91.3	93.4

	呼吸サポート	周術期管理	VAP
	0.5	0.1	0.3
	5.2	3.1	1.6
	94.3	96.8	98.1

図40. NST、摂食・嚥下、口腔ケアチームのある病院と歯科医療職種関与割合(再掲)

	NST(n)	摂食・嚥下(n)	口腔ケア(n)
病院数	492	301	235
チームあり・ 歯科職種関与あり	246	174	189
チームあり・ 歯科職種関与なし	246	127	46

	NST(%)	摂食・嚥下(%)	口腔ケア(%)
	100.0	100.0	100.0
	50.0	57.8	80.4
	50.0	42.2	19.6

図41. 入院患者の歯科的管理実施割合(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
実施している	578	1,370	1,948
実施していない	69	379	448
今後実施したい	55	116	171
無回答	11	87	98

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	81.1	70.2	73.1
	9.7	19.4	16.8
	7.7	5.9	6.4
	1.5	4.5	3.7

図42. 歯科標榜のある病院における口腔ケア等(歯科的管理)実施者割合(重複回答)

	歯磨き	舌や粘膜面の 清拭	義歯の清掃等	洗口	その他
歯科医師	26.4	28.9	27.1	22.6	16.8
歯科衛生士	50.6	48.1	45.9	41.8	12.1
看護師・准看護師	51.1	52.7	47.7	48.9	6.7
言語聴覚士	10.4	13.3	8.1	10.5	4.8
理学療法士	1.0	0.7	0.7	1.0	1.5
作業療法士	1.5	1.3	1.3	1.5	1.4
介護士	12.3	9.7	12.6	12.1	2.1
その他職種	4.3	2.5	3.6	3.5	0.6

図43. 歯科標榜のない病院における口腔ケア等(歯科的管理)実施者割合(重複回答)

	歯磨き	舌や粘膜面の 清拭	義歯の清掃等	洗口	その他
歯科医師	2.4	2.4	2.3	1.7	2.8
歯科衛生士	6.9	7.1	6.1	5.8	2.2
看護師・准看護師	48.6	48.8	46.6	45.9	5.3
言語聴覚士	10.2	11.9	8.6	9.0	2.8
理学療法士	1.1	1.0	0.7	0.9	0.5
作業療法士	2.4	1.3	1.5	1.4	0.7
介護士	22.1	17.9	23.9	21.9	1.7
その他職種	6.3	4.7	7.2	5.6	0.8

図44. 入院患者の口腔機能回復(歯科標榜の有無での比較)

	歯科標榜あり(n)	歯科標榜なし(n)	全体(n)
実施 (摂食機能療法算定あり)	373	706	1,079
実施 (摂食機能療法算定なし)	108	348	456
実施していない	111	495	606
今後検討したい	69	182	251
無回答	52	221	273

	歯科標榜あり(%)	歯科標榜なし(%)	全体(%)
	52.3	36.2	40.5
	15.1	17.8	17.1
	15.6	25.4	22.7
	9.7	9.3	9.4
	7.3	11.3	10.2

図45. 歯科標榜のある病院での口腔機能回復実施者割合(重複回答)

	摂食・嚥下 評価・指示	摂食・嚥下 訓練実施	発音訓練 評価・指示	発音訓練 訓練実施	その他
医師	33.4	4.9	24.3	2.9	0.3
歯科医師	29.5	16.0	13.2	6.7	0.4
歯科衛生士	5.8	16.5	3.1	6.3	0.3
看護師・准看護師	7.2	23.1	2.4	7.6	0.3
管理栄養士	2.8	2.8	0.3	0.6	0.3
言語聴覚士	17.4	33.4	22.0	37.3	0.4
理学療法士	1.5	6.3	0.4	2.4	0.1
作業療法士	1.8	6.3	0.8	2.7	0.0
その他職種	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0

図46. 歯科標榜のない病院での口腔機能回復実施者割合(重複回答)

	摂食・嚥下 評価・指示	摂食・嚥下 訓練実施	発音訓練 評価・指示	発音訓練 訓練実施	その他
医師	27.2	2.2	16.4	0.8	0.3
歯科医師	1.7	0.8	0.5	0.3	0.2
歯科衛生士	1.0	1.8	0.2	0.5	0.0
看護師・准看護師	12.7	29.1	4.0	8.6	0.6
管理栄養士	3.5	3.5	0.4	0.8	0.3
言語聴覚士	15.4	21.5	16.1	22.1	0.3
理学療法士	2.0	4.3	1.0	2.0	0.2
作業療法士	1.9	4.0	0.9	1.9	0.2
その他職種	0.7	1.7	0.1	1.0	0.1

5. 調查票

平成 22 年 11 月

病院長各位

病院でのチーム医療における歯科の係わりに関する調査のお願い

社団法人 日本歯科医師会
会長 大久保 満男
日本歯科総合研究機構
機構長 山 科 透
(公印省略)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、日本歯科総合研究機構では「チーム医療に関する調査」を行うことといたしました。本調査では、各病院において実施されているチーム医療における歯科関係職種との関与の実態を把握し、今後の施策の基礎資料とすることを目的としております。

調査対象は平成 22 年 10 月現在独立行政法人 福祉医療機構の WAM NET に記載されている全国病院としております。

なお、本調査の主体は、日本歯科医師会内の日本歯科総合研究機構が実施いたします。調査票の送付・集計に関しましては、日本歯科総合研究機構の委託した調査会社が行います。何卒、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご回答いただきました調査票を同封の返信用封筒に入れ、平成 22 年 12 月 8 日(水)までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

敬具

<ご記入にあたってのお願い>

ご記入に際しては、該当する項目を○印で囲み、数字や自由記載ははっきりとご記載ください。

*本調査は、調査目的のためのみに使用いたします。病院名やご回答者を公表することはありません。また、調査票にご記入いただいた回答は秘密を厳守いたします。

【問合せ先】

〒 102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-20

日本歯科医師会内 日本歯科総合研究機構

Tel 03-3262-9346 Fax 03-3262-8810 (担当：恒石、高橋)

「病院でのチーム医療における歯科の係わりに関する調査」調査票

質問はⅠとⅡがあります。Ⅱについては「歯科」のある病院がご回答ください

(平成22年10月末現在の状況)

Ⅰ 全病院がご回答ください

■ 貴院の概況についてお伺いいたします。

(1) 貴院名		
(2) 貴院の所在地 (都道府県名)		
(3) 貴院の病床数	一般病床	床
	療養病床	床
	精神科	床
(4) DPC対象病院ですか	1	はい
	2	いいえ
	3	今後導入予定
	4	その他()
(5) 貴院の全従事者数(非常勤も含む)	1	～19名
	2	20～49名
	3	50～99名
	4	100～199名
	5	200名以上
(5)-2 そのうち次の従事者数	常勤歯科医師	名
	非常勤歯科医師	名
	常勤歯科衛生士	名
	非常勤歯科衛生士	名
(6) 入院患者の歯科医療および口腔内の 情報について	1	把握している
	2	把握していない
	3	状況に応じて把握
	4	その他()
(7) 入院患者に緊急に歯科治療が必要と なった場合の対応について	1	院内の歯科医師が対応
	2	院外の歯科医師が対応
	3	対応は不十分(理由:)
(8) 退院時カンファレンスについて	1	歯科医師が参加することがある
	2	歯科衛生士が参加することがある
	3	歯科関係職種が参加することはない
	4	歯科関係職種の参加を今後検討したい
	5	その他()
(9) 地域連携室の有無	1	あり
	2	なし
	3	今後導入予定
	4	その他()
(10) 歯科医療に関して地域歯科医師会と の連携	1	歯科医師会と連携あり
	2	歯科医師会と連携なし

■貴院でのチーム医療の状況についてお伺いいたします。

(11) 病院内のチーム医療連携について

	以下のチームの状況に○をつけてください	歯科医師が参加している場合は具体的な役割をお書きください。参加していない場合は斜線をお引きください	歯科衛生士が参加している場合は具体的な役割をお書きください。参加していない場合は斜線をお引きください
NST連携(栄養サポート)チーム	あり・なし・検討中		
がん患者連携チーム	あり・なし・検討中		
脳卒中患者連携チーム	あり・なし・検討中		
糖尿病患者連携チーム	あり・なし・検討中		
緩和ケア連携チーム	あり・なし・検討中		
口腔ケアチーム	あり・なし・検討中		
呼吸サポートチーム	あり・なし・検討中		
人工呼吸器関連肺炎(VAP)チーム	あり・なし・検討中		
摂食・嚥下チーム	あり・なし・検討中		
褥瘡対策チーム	あり・なし・検討中		
周術期管理チーム	あり・なし・検討中		
感染制御チーム	あり・なし・検討中		

(11)-1 その他連携チームがありましたら名称及び歯科医師・歯科衛生士の役割を記載ください

名称	歯科医師・役割	歯科衛生士・役割

(11)-3 今後導入を考えたいチームがありましたら具体的にご記入ください

--

(11)-4 チーム医療を実施するにあたり問題点がありましたらご記入ください

--

(12)入院患者の口腔ケアを含めた歯科的管理(口腔清掃等)について

1	実施している(→実施している場合は以下の質問に回答ください)
2	実施していない
3	今後検討したい

(12)で実施していると回答された場合は以下の(12)-2、3にもご回答ください

(12)-2 どのような患者に実施しているか具体的に記入ください

--

(12)-3 口腔ケアを含めた歯科的管理の実施主体者および実施内容に○をつけてください。

	歯磨き	舌や粘膜面の清拭	義歯の清掃等	洗口	その他
歯科医師					
歯科衛生士					
看護師・准看護師					
言語聴覚士					
理学療法士					
作業療法士					
介護士					
その他職種()					

(13)入院患者の口腔機能回復(摂食・嚥下等)について

1	実施していて、医療保険の摂食機能療法を算定している
2	実施しているが、医療保険の摂食機能療法は算定していない
3	実施していない
4	今後検討したい

(13)-2 口腔機能回復を実施している場合、実施主体者および実施内容に○をつけてください

	摂食・嚥下		発音訓練		その他
	評価・指示	訓練実施	評価・指示	訓練実施	
医師					
歯科医師					
歯科衛生士					
看護師・准看護師					
管理栄養士					
言語聴覚士					
理学療法士					
作業療法士					
その他職種()					

ご協力ありがとうございました。

*歯科のある持つ病院につきましては次ページにお進みください。

■本調査票のご記入者について

ご記入者名

ご連絡先電話番号

ご職種

Fax

e-mail

* ご回答いただきました内容につきまして、後日ご照会させていただく場合もあります。

